

# 東京アクアティクスセンター

## 指定管理者審査 提案書類（事業計画書）

団体名	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団内
代表者名	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 理事長 並木 一夫

東京2020大会の競技会場という特性を生かした運営を通じて、都民の健康長寿や地域の活性化を実現し、大会のレガシーを次世代に着実に継承します

- ハイレベルな大会や魅力的な事業を実施し、多くの人が集う施設として進化・発展させることで、スイマーのみならず都民の憧れとなる「アクアブランド」の価値を高めます。
- 施設運営計画や東京都スポーツ推進総合計画等に基づき、東京都の監理団体、競技団体、民間企業が三位一体となって、民間活力を基調とした都民のスポーツ振興や競技の発展、周辺施設との連携を推進します。

1 「水泳の聖地」としてのプレゼンスの確立と競技力の向上

- コンソーシアムの一員である東京都の水泳競技の統括団体である構成団体Dや、その上部団体で、関心表明書で協力・連携を表明している（公財）日本水泳連盟（以下「日水連」といいます。）との強固な連携に加え、東京辰巳国際水泳場（以下、「辰巳」といいます。）の指定管理で培った豊富な経験に基づき、引き続き大規模かつハイレベルな大会を誘致します。
- 日水連及び構成団体Dを通じて、選手らのトップスイマーをはじめ、東京2020大会で活躍したオリンピックのご協力のもと、都民の水泳の競技力向上及び水泳愛好者の拡大を図ります。また、に本施設の名誉館長に就任していただくことが可能です（本人同意済）。
- 「日本一きれいな水」として競技者から高い評価を受ける辰巳の水質を守ってきたプロ集団が、アスリートファーストの視点で、世界最高水準の水環境を創ります。



図-競技会開催時の会場イメージ

2 誰もがスポーツや健康増進に取り組むことができる場の創出

- 辰巳で培ったグループの運営ノウハウによって競技利用とのバランスを図りながら、誰もが安心してスポーツや健康増進に取り組める環境を提供します。
- サブプールやスタジオ等を有効活用し、全国で公共を含めた200か所以上のスポーツ施設を運営する構成団体Cが年代や目的に応じた多彩で魅力的なプログラムを展開します。
- 日本水泳ドクター会議等と連携し、水泳フォームのクリニックや、個別カウンセリングによる効果的な水泳プログラムの提案、水中リハビリテーションなど、スポーツ医科学の視点を取り入れた、都民の健康長寿・健康増進に資するための事業を実施します。
- 適正な価格でより高いサービスを目指します。サービス向上には、都民ファーストの視点で利用者の声を集め、多様化するニーズに迅速かつ効果的に対応します。
- 障害の有無や国籍、年齢等に関わらず、誰もがスポーツに親しむことができるよう、ハード・ソフト両面からのバリアフリーに取り組みます。



図-施設の外観と周辺環境

3 周辺施設との連携によるにぎわいの創出と都民利用の促進

- バーベキュー広場やドッグランなど、辰巳の森海浜公園や夢の島公園にある施設と連携しながら、キャンプ体験やドッグカフェ等、地域の特性を生かした集客力のある屋外イベント等を開催することでにぎわいを創出するほか、地域の美化運動を兼ねたウォーキングイベント・スタンプラリーを開催する等、辰巳の森海浜公園等と一体となって都民の憩いの場を創出します。
- 公共交通機関に加え、シャトルバスやシェアサイクルなど多様な移動手段の活用により、周辺一帯の回遊性を高めることで施設の相互利用を促進します。
- 辰巳の森海浜公園をニュースポーツの中心地とし、夢の島公園のスポーツ施設と連携することで、都内有数のスポーツクラスターとし、広がりのあるスポーツ空間の形成を目指します。東京都レクリエーション協会や各種競技団体、大手広告代理店等と協力連携して幅広くスポーツコンテンツを提供します。



周辺一帯における地域の活性化

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

## 提案課題 1 [管理運営の基本方針]

### 重点目標 ①

#### ■ 来場者目標達成に向けた考え方

**1** これまでの実績や豊富な運用経験に加え、新たな取組を通じて、現在の辰巳の来場者数を倍増させ来場者目標年間100万人を達成します。

- 大会や競技利用については、競技団体と連携し、大会や練習会場としての利用頻度を増加させるとともに、リアルタイムで世界記録等のラップタイムやレーン毎の順位を大型ビジョンに映すことで臨場感を高める等、**水泳競技の観戦客増加**に向けた新たな取組を推進します。
- 個人利用は、ファンクショナルトレーニング中心としたトレーニングルームを整備し、類似施設との差別化を図ります。また、ベビー・キッズを対象とした教室と保護者世代向けのプログラムを充実させ、近隣で増加中の子育て世代の需要を積極的に取り込みます。
- サブプールの独立化や可動床であることを活用し、高齢者や子供にも安全で利用しやすい環境を提供します。
- コンソーシアムの一員である構成団体Dと、当グループの事業に関心を表明している日水連からアスリートを招聘して、合同練習会や**水泳の特別プログラムを開催するなど、本施設でしか体験することができない貴重な機会を提供**します。
- 国際大会や日本選手権など、日水連や構成団体Dが主催する大会やバックヤードツアーに都民を招待する事業を実施します。会場でしか得られない興奮や臨場感を味わっていただき、水泳の魅力を発見するきっかけとするなど、水泳競技の裾野の拡大につなげます。
- 構成団体D及び日水連との連携**により、**氏をはじめとするオリンピック等の国際大会で活躍した選手のメダル展示**や、水泳の国際大会や著名アスリートの**対談映像**等を放映するほか、ICT技術を活用した**体験コーナー**を設置するなど、オリンピックメモリアルギャラリーのコンテンツを充実させ、観光施設としても集客力を高めます。また、メダルについても、東京2020大会で獲得した場合は、構成団体D及び日水連を通じて展示に向けた交渉を進めます。
- 週末にイベントを開催**し、バーベキュー広場や少年広場、夢の島公園のスポーツ施設等の利用者に本施設に立ち寄っていただくほか、**託児サービス付きの教室を実施**することで子育て世代のスポーツ実施をサポートするなど、これまで水泳場を訪れたことのない顧客層を開拓します。

利用目的	内 容	来場者目標	
大会利用	大会・選考会（選手・関係者を含む）	25万人	85万人
観戦	年間大会開催日数200日 1大会平均 1,500人	30万人	
大会以外の競技利用	団体利用者へのレーン貸し、水泳以外のスポーツ利用	27万人	
競技力向上事業	トップアスリート発掘育成、国体候補選手強化、ジュニア強化等	3万人	
個人利用（無料プログラム含む）	プール・トレーニングルーム	6万人	15万人
プールを活用した健康増進	各種水泳教室、アクアビクス教室、水中ウォーキングなど	2.5万人	
トレーニングルームやスタジオ等を活用した健康増進事業	ヨガ、子供体育教室、太極拳、ジムスモールエクササイズなど	1.5万人	
会議室を活用した講座等	スポーツ栄養学講座、ボランティア養成講座、栄養相談など	1.5万人	
レクリエーション事業等	全館を活用したイベント、アクアゲーム水泳教室など	3.5万人	
合 計		100万人	

表-利用目的別の来場者目標

### 重点目標 ②

#### ■ 大会開催目標等達成に向けた考え方

**2** 競技団体のネットワークを活用し、国際・国内大会誘致目標100大会を達成します。

- コンソーシアムの一員である構成団体D及び日水連との連携を通じて、これまで辰巳で開催してきた国際大会や大規模な国内大会を引き続き開催するほか、新たに国際大会を誘致するなど、**日本水泳の拠点**として、民間団体主催の大会も含め、より**多くの大会を誘致・開催**します。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

## 提案課題 1 「管理運営の基本方針」

○サブプールを活用し**複数の大会を同時に開催**することで、これまで日程重複のため辰巳での開催を見送っていた大会を受け入れるなど、施設の特性を最大限に活かした運営を行います。

区分		大会名
国際大会		FINA スイミングワールドカップ、世界選手権、パンパシフィック水泳選手権
全国大会 (日水連等主催)	競泳	日本選手権、ジャパンオープン、日本マスターズ水泳短水路大会、日本学生選手権水泳競技大会、全国 JOC ジュニアオリンピックカップ(春季・夏季)水泳競技大会、民間スポーツクラブ等主催水泳大会、アクア杯、KITAJIMA 杯等
	アーティスティック	日本選手権、AS ナショナルトライアル、AS チャレンジカップ、AS13-15 ソロ・デュエット、アーティスティックスイミングパジャテスト
	飛込	日本選手権、日本室内選手権飛込競技大会、日本学生選手権水泳競技大会等
	水球	日本選手権、日本学生選手権水泳競技大会
	ライフセービング	全日本ライフセービング選手権大会等
障害者大会		東京都障害者スポーツ大会、リズム水泳発表会等
関東大会		関東学生選手権、関東高校選手権、関東中学選手権、水球関東春季、関東ジュニアオリンピック予選(AS)
東京都大会		各種目日本選手権予選、各種目国体予選、春季・夏季水泳競技大会、選手権水泳競技大会、ジュニア長・短水路水泳競技大会、社会人チーム対抗水泳競技大会、高等学校選手権水泳競技大会、中学校総合体育大会、東京都マスターズ水泳競技大会等
区大会		江東区民大会、江東区中学校連合大会
民間スポーツクラブ等主催大会		オールジェクサー・スイムフェスティバル、セントラルマスターズ、オアシススイムフェスタ、ルネサンスクラブ対抗、コナミオープン等
その他		ジュニアスイムフェスティバル(朝日新聞)、ロングディスタンス(日本トライアスロン連合)、アクアアクアスロン(仮称)、東京消防庁、日本大学等
合計		<b>全 102 大会</b>

表-大会規模別の目標数

### 重点目標 ③

#### ■ 施設稼働率向上の取組

### 3 競技利用と個人利用のベストミックスによって、施設の資源を最大限有効活用します。

- オリンピック施設としての希少性はさることながら、新規施設ならではの恵まれた環境や附属設備の優位性等を、代表団体 A が発行する「スマイルスポーツ誌」、HP や新聞折込広告等で**積極的に PR**することで、団体利用や個人利用の促進につなげます。あわせて、最寄駅からの**シャトルバスによる送迎**をはじめ、利用しやすい駐車場料金の設定、コンビニタイプの売店での**物販の充実**、子育て世代の女性向けに**託児サービス付きのスタジオレッスン**を設定するなど利用者サービスの充実を図ることで**リピーターの確保**につなげます。
- 辰巳と近接したエリア・環境に立地し、辰巳の利用者も多く来場することが想定されるため、これまでの**辰巳での 7 年間の指定管理**で培ったノウハウや経験を踏まえながら、利用者目線に立って、安全・安心かつ効果的に施設を運営します。
- 団体向けの早朝時間帯**の設定、**営業時間外の撮影**についても協議のうえで受け入れるほか、**企業広告の誘致**等、近隣の同規模の国際水泳場の取組等もベンチマークしながら、施設利用者のサービス向上につなげるため、**収益確保に向けた事業展開**を進めます。
- 新たにドライランドを併設するダイビングプールについては、国内トップチームの**飛込競技の練習の場**として誘致していきます。また、構成団体 C が実施するスキューバダイビングや飛込教室等の自主事業や、スポーツ振興事業等でのスキューバ体験等、個人利用での活用も図り、稼働率の向上を目指します。



図-スキューバダイビング教室



図-飛込教室(イメージ)

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

## 提案課題 1 「管理運営の基本方針」

### (1) 運営方針

#### 1 東京都のスポーツ振興施策との連動

- 「2020 年に向けた実行プラン」や「東京都スポーツ推進総合計画」を踏まえ、「スポーツに親しめる社会」の実現に向けた、施設運営並びに事業展開を図ります。
- 下図の通り、東京都スポーツ推進総合計画の、スポーツを通じた3つの政策目標と「する・みる・支える」の3つの視点をクロスマッチングし、網羅的・有機的に事業を実施し、施策効果の実現に寄与します。

	するスポーツ	みるスポーツ	支えるスポーツ
健康 長寿	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶スポーツ・レクリエーションイベントの開催</li> <li>▶競技力向上の機会創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶大会・スポーツイベントの情報発信(日本選手権等への招待)</li> <li>▶バックヤードツアー等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶競技会等の運営協力を通じたスポーツボランティアの育成</li> <li>▶スポーツ指導者の育成</li> </ul>
共生 社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶誰もが参加・体験できるスポーツイベント・教室の開催(障害のある方、高齢者、女性等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ギャラリースペースの障害(視覚・聴覚)対応・多言語対応</li> <li>▶障害者スポーツの更なる魅力発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶障害者スポーツ指導員の配置</li> <li>▶バリアフリー・多言語対応</li> </ul>
地域 経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶多くの人が参加可能なスポーツイベントの開催</li> <li>▶マルチスポーツエリアの展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶新たな視点でのスポーツ観戦の魅力発信</li> <li>▶ICTを活用した展示・体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶地域美化運動を兼ねたウォーキングイベントの実施</li> <li>▶施設への企業広告の導入</li> </ul>

図-東京都スポーツ推進総合計画とリンクした当グループの取組

#### 2 地域の賑わいへの貢献と収益性の確保

- プールでのニュースポーツ「アクアゲーム」の体験講習会を開くなど、普及を図ります。その上で、辰巳の森海浜公園の他のニュースポーツ施設と連動したイベントを開催し、「ニュースポーツの中心地・辰巳の森」の認知度をアップし、賑わいの創出につなげます。
- ヨガフェスタやアクアスロン大会などのイベント開催で周辺施設との相互利用を促進します。
- 施設前面においてドッグカフェやキャンプイベント等を開催し、周辺のドッグランやバーベキュー施設と一体化したエリアの魅力を高めます。
- 事業内容の充実、広報 PR の積極的な展開、企業広告の誘致、施設の有効活用等により、**収入の増加**に努める一方で創意工夫により良質なサービスを目指します。
- 太陽光や地中熱等の再生可能エネルギーの活用に加え、省エネマネジメントなどを実施することで、**光熱水費等のコストを削減**し、収益性の確保に努めるとともに、環境対策にも積極的に取り組み、東京都の目指すスマートエネルギー都市に相応しい施設運営を行っていきます。
- 現在、指定管理を受託している都立スポーツ施設の稼働率は、大部分が例年 90%超(特に東京体育館のアリーナ施設は 99%超)という高水準を保っています。そうした中でも、コンサート・イベントも実施するなど、スポーツ施設としての役割を損なうことなく**施設を最大限に活用するノウハウを十分に有して**おり、それらを本施設の運営にも活かしながら収益性を確保します。

#### 3 競技団体との連携による競技力向上

- 東京都体育協会と連携して実施するジュニア特別強化事業など、東京都の競技力向上事業に加え、スポーツ振興事業として、都内地区水泳協会等との連携のもと、スポーツ指導者の育成に取り組み、水泳競技の裾野の拡大を図ります。
- 東京都の水泳競技の統括団体である構成団体 D がパイプ役となって、**全都的な強化練習会を実施**し、「2020 年に向けた実行プラン」で掲げられた国際大会で活躍するアスリートの育成・強化等の東京都の取組について日本水泳ドクター会議との連携や 2020 大会で活躍した学生ボランティアの活用も図りながら、大会後も全力でサポートします。
- 施設運営計画をはじめ、構成団体 D のサポートのもと、水質や競技用備品等を適切に維持管理するなど、最高水準の競技環境・練習環境を整えます。



図-日ごろからの連携を生かし競技力向上・水泳競技の裾野拡大に貢献

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

4 施設のサービス・魅力向上に対する不断の事務改善 (PDCA サイクルによる改善)

- ・利用者の生の声を集めるため意見箱を設置するほか、スタッフの日々のヒアリングにより、利用者からの意見・要望を的確に把握するとともに、毎月開催する**実務担当者会議**で議論したうえで、対応方針を策定 (P) し、実行します (D)。常日頃から、利用者目線に立って、館内の美化、掲示物や案内放送に至るまでこまめに点検 (C) し、結果の公表も含め、スタッフの一人ひとりが意識を高くもって改善に取り組むことで (A)、お客様に「また、来たい。」と思っただけのような魅力ある施設づくりを心がけます。
- ・利用者懇談会や利用者満足度調査を毎年実施することにより、常に利用者の声に耳を傾け、利用者の視点に立ったサービスを提供します。(当グループが実施している**利用者満足度調査**では、毎年、満足度 90%を超える高い評価をいただいております。)
- ・働き方改革を進め職員のライフ・ワーク・バランスを改善するとともに、朝昼時のラジオ体操等を奨励することで、これまで、コンソーシアムの中で育まれた明るく風通しの良い職場風土を一層深化させ、以て施設利用者の満足度向上につなげていきます。

5 2020 年大会成功に向けた万全の態勢

- ・本施設は、東京 2020 大会において、オリンピック・パラリンピックの水泳競技の会場予定地となっています。施設・設備の運営をはじめ、警備や清掃、飲食・売店等の利用者サービスに至るまで、東京都と組織委員会の要望に応えられる体制を整備します。
- ・大会準備として、諸室の利用方法やテストイベントの実施等、組織委員会や国際競技連盟との事前の調整についても、既に準備を進めている辰巳 (水球会場) や東京体育館 (卓球会場) の連絡調整を通じて得た情報等も踏まえながら、全面的に協力します。
- ・現在、辰巳を利用している団体や個人の皆様が、東京 2020 大会後、**当施設へスムーズに移行**できるよう、きめ細やかにサポートします。



図-東京アクアティクスセンターの事業期間と事業イメージ

6 利用者の安全・安心を最優先した施設環境づくり

- ・これまでの都立スポーツ施設の運営を通じて培ってきた施設管理のノウハウを最大限に生かし、安全・安心な運営を徹底します。また、スタッフに対する定期的な教育・研修を行うとともに、「緊急時対応マニュアル」など各種マニュアルの整備により、利用者の安全確保を図ります。
- ・高齢者や障害者が施設を気軽に利用できるよう、**スタッフによるサポートの強化**に取り組むとともに施設内の動線を工夫するなど、全ての利用者に配慮した環境を整備していきます。
- ・地震や火災等の有事の際には、防災センターを消防活動の拠点として活用するため、防災センター要員等、法定資格者を配備するとともに、防災訓練等を通じて、職員一人ひとりの現場対応力を向上させるほか、巡回警備・機械警備により施設内外の**防火・防災管理及び防犯対策を徹底**します。

提案課題 1 [管理運営の基本方針]

(2) 業務全体にかかる履行体制

■ 官民連携による事業モデルの実践

- ・公共セクター、民間セクター、サードセクター（競技団体）が公民協働のもと、互いに力を発揮し協働することで、**都民に感動を与え、親しまれる高品質なサービス**を提供します。

■ スポーツ施設の運営を熟知したプロ集団

- ・都立スポーツ施設（東京体育館、東京辰巳国際水泳場、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館）の指定管理実績を有する代表団体 A のもと、指定管理業務の実績を豊富に有する企業（構成団体 B）、スポーツ健康産業のパイオニアである企業（構成団体 C）、東京都の水泳競技の統括団体（構成団体 D）の 4 者がコンソーシアムを構成し、専門的な経験とノウハウを有する東京都体育協会、日水連、東京都障害者スポーツ協会等のスポーツ関係団体、大学研究機関、日本水泳ドクター会議等の協力を得て、**より充実したサービス**を提供します。
- ・代表団体 A 内で毎月開催する経営会議をはじめ、都立スポーツ施設の指定管理者の情報連絡会において共有された、各施設における課題やそれらの対応事例、お客様のご意見等について、代表団体 A が中心となって、コンソーシアムの実務担当者が出席する会議で共有します。
- ・スポーツ施設の横の連携を密にし、スタッフ一人ひとりがサービス向上に向けた意識を高め行動することで、お客様が安全に、気持ちよく施設をご利用いただくことが可能となります。
- ・東京都のスポーツ推進の一翼を担ってきた代表団体 A が、当グループの要としてグループ内の調整や進行管理、東京都との連絡調整を行うことで、**確実なサービス水準の維持向上**を図ります。



図-都のスポーツ施設間の連携

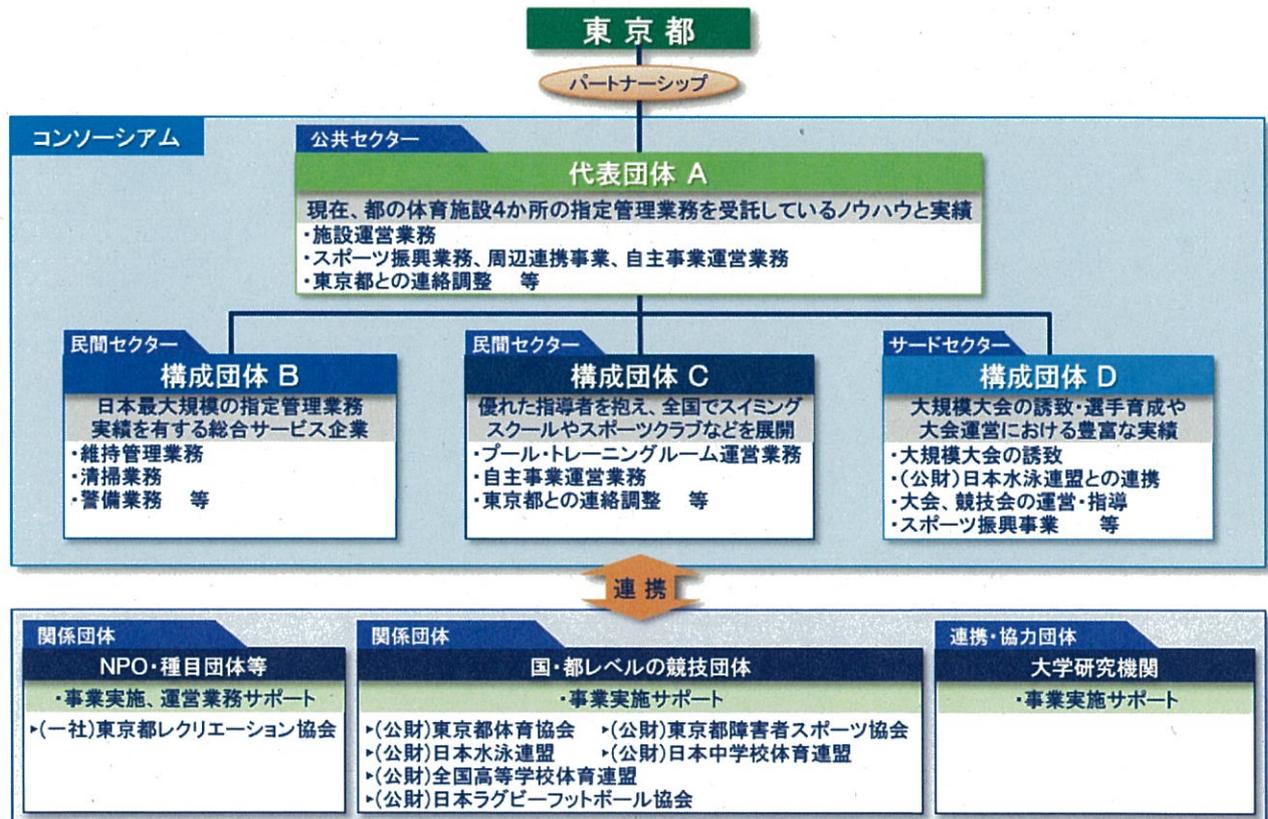


図-本施設の管理運営の事業スキーム

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(1) 休館日及び開場時間

利用者ニーズを踏まえた弾力的な休館日・開場時間を設定します

- 利用者ニーズの高い夏季期間においては、開館時間を早め利用者ニーズに応えます。
- 行事主催者の意向に沿った使用時間の繰上・延長や、個人利用における夜間の閉場時間繰下等、弾力的な運営をいたします。
- 元旦「初泳ぎ」イベントを実施し、水泳の聖地である本施設を無料開放します。

1 休館日の設定について

■ 条例や施設の運営を踏まえた休館日の設定

- ・東京都体育施設条例や大会等の運営状況を考慮し、戦略的な休館日を提案します。
- ・優先受付調整後、大規模大会の少ない利用月に長期間の日数を要する水抜き休館を実施し、施設提供の幅を広げます。さらに、メンテナンス休館のある月は、定期休館日を設けないなど、点検業務を可能な限り減らし効率良く施設を活用します。
- ・大規模大会等の開催日程により、休館日の変更が生じた場合は、東京都と協議の上実施します。また、他の類似施設と休館日が被らないように十分に配慮し、スポーツ実施率の向上・利用者ニーズに応えます。



図-メンテナンス休館日と条例休館日の優先度

2 開館時間の設定について

- ・同条例の規定に基づき、団体使用施設・個人使用施設共に開館時間を原則 9 時から 21 時とします。ただし、辰巳の代替施設となることを想定して、開館時間を辰巳にならい 8 時 45 分に設定し、9 時には利用者が泳げる環境を提供します。

■ 専用使用（大会・競技会利用）

- ・大規模大会時には、大掛かりな会場の設営・撤去作業等で早朝・深夜利用も多いことを考慮し、団体からの要望があった際には、利用時間の繰上・延長など利用者ニーズに柔軟に対応します。

■ 個人利用・レーン貸し

- ・当グループの蓄積されたノウハウを生かし、曜日や時期によって異なる利用時間を設定します。
- ・辰巳の個人利用者・レーン貸し利用団体の半数以上が午前中に施設を利用しており、午前中の高い利用ニーズに応えるため、東京都と協議のうえ夏季期間においては早朝開館を実施します。また、競技団体による強化練習の早朝利用にも協議の上、可能な範囲で対応します。
- ・需要の高い土曜夜間の利用時間を 22 時まで延長し、22 時 30 分を閉館時間とします。
- ・女性や障害者など身支度に時間がかかる利用者も、閉場時間を利用可能時間の 30 分後に設定し、時間に追われることなく身支度が出来るよう利用者ニーズに応えます。
- ・利用時間を辰巳とそろえることで、辰巳を利用されている方が、混乱しないよう配慮します。

曜日	開館時間	利用時間	閉館時間
平日・土曜日	8:45	9:00~22:00	22:30
日曜日・祝日	8:45	9:00~21:00	21:30

表-開場時間の設定

■ アクア元旦「初泳ぎ」の実施

- ・毎年辰巳で実施されている元旦「初泳ぎ」は、全国のスイマーが集まる人気のイベントの1つとして定着しています。
- ・今後は、オリンピック施設としての付加価値が更に加わった「水泳の聖地」である本施設で、1月1日を元旦「初泳ぎ」の日とし、都民に施設を無料開放します。

(2) 利用の調整

高品質な利用調整により、「みるスポーツ」の魅力発信・機会の提供、  
「するスポーツ」の場の拡大、競技力向上に貢献します

- 大型水泳場を管理運営するノウハウを生かし、目的やニーズを捉えた予約受付方法を提案します。
- 施設の有効的活用や公平性などに配慮した利用調整により、多くの方にスポーツ活動の場を提供します。

1 専用使用における施設提供

■ 施設を最大限に有効活用する利用調整

- ・利用受付は、管理基準に従い適切に実施します。専用利用は、競技大会などによる「施設全体の貸切利用」と、「レーン貸しなど」「一部施設の占有利用」の2種類に分類されます。
- ・東京辰巳国際水泳場や東京体育館など、大型水泳場を有するスポーツ施設を管理運営する代表団体Aに蓄積されたノウハウと経験をもとに、使用申請から使用承認まで、利用形態に応じた右記の利用調整スケジュールを提案しました。
- ・これにより、全国大会や全都大会などの大規模大会からクラブ活動などの団体利用に至るまで、利用者の要望に最大限応えることが可能となります。
- ・平成31年度及び平成32年度の施設利用に係る受付については、ノウハウや経験など当グループが把握している様々な情報を基に東京都と協議の上、適切に実施します。

■ 国際大会、全国大会、東京都大会等【優先受付】

(1) 経験・実績に裏付けられた安定・安心を提供

- ・代表団体Aが管理する施設においては、東京都体育施設条例や管理基準などの十分な理解のもと、円滑かつ効果的に優先受付を実施しています。
- ・本施設においても、「適切」「効率的」「効果的」をコンセプトに、東京都の水泳界を統括・代表する構成団体Dと連携する他、各水泳競技団体や利用団体とのネットワークを生かしながら、公益性や大会規模等に配慮した高品質な利用調整を行います。

(2) グループ構成団体が管理運営する他スポーツ施設との連携・調整

- ・東京辰巳国際水泳場はもとより、東京体育館や千葉県国際総合水泳場など、都内近郊における大型水泳場施設と連携し、大会が競合した際の受入れ調整等を実施します。
- ・多施設との連携により、利用団体や様々な行事の動向を把握・掌握し、新規行事等を開拓していくことで、アクアティクスセンターとしての更なるブランド力向上を目指します。

(3) 優先受付の具体的な実施方法

- ・下図「優先受付のフロー」に則り実施しますが、希望が重複した際は、管理基準の他、施設の使用規模、日程の短縮・移動、利用日の妥当性、実施確度など様々な項目を基に利用団体と調整を行い、団体の意向を最大限踏まえつつも施設の有効活用を考慮した利用調整を行います。

優先受付	
世界大会・全国大会・全都大会等	
申込期間	前年度の6月30日まで
利用調整	7月1日から8月31日まで
仮承認	8月31日まで
一般受付①	
優先受付以外の全面貸切利用	
申込期間	使用月の6ヶ月前の初日まで
利用調整	6ヶ月前の初日から25日まで
仮承認	6ヶ月前の25日まで
一般受付②	
レーン貸し・面貸し利用	
申込期間	(1) 使用月の5ヶ月前の初日まで (2) 使用月の5ヶ月前の14日まで
利用調整	(1) 5ヶ月前の初日まで (2) 5ヶ月前の14日まで
仮承認	5ヶ月前の25日まで
個人使用	
個人使用施設利用者	
申込・承認	当日入場券の購入後、専用ゲートにて入退場

図-利用調整スケジュール

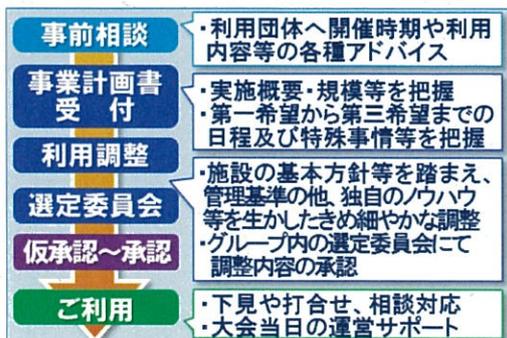


図-優先受付のフロー

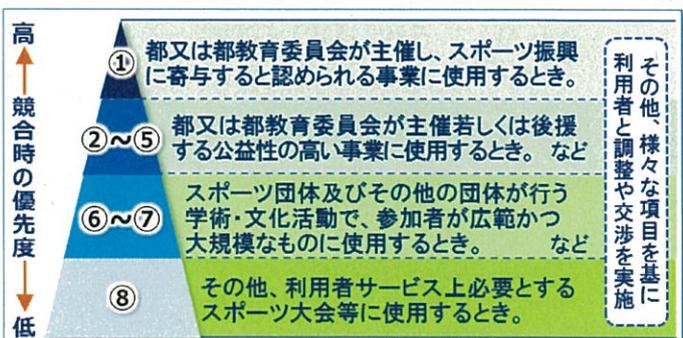


図-優先受付の利用調整

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務] 1 施設の提供

■ 優先受付以外の全体貸切利用 【一般受付①】

- ・国際競技力向上のための強化練習の場として使用する場合は優先するなど、本施設の基本方針である「**アスリートの強化、育成の場の提供**」を重視した利用調整を提案します。
- ・希望が重複した際は、**体育・スポーツ及びレクリエーション活動に使用する場合は優先**とし、同レベルの内容で競合した際には、優先受付時と同様、使用規模や使用日数など**施設の有効活用を考慮**します。

**一般受付①における施設提供方針**

- ・優先受付以外において、スポーツ団体等が競技会、練習、講習会、レクリエーション、学術・文化活動などで**施設全体を貸切**で使用する申込を対象に受付

■ レーン貸し・面貸し利用 【一般受付②】

- ・希望重複の際は、申込時間帯ではなく、**団体を対象に抽選**し優先順位を決めて希望日ごとに決定することで、**より高い公平性を担保**します。
- ・多くの利用者に**スポーツ活動の場を提供**できるよう、抽選・受付を2回実施し、**施設の稼働率向上**を図ります。
- ・一般受付②の利用調整後は、空いているレーンをホームページ等で公開し、**先着順で申込**を利用日の前日まで受け付けます。

**一般受付②における施設提供方針**

- ・一般受付①の利用調整終了後、レーン貸しが可能なレーン数及びプール規格を決定し、スポーツ団体等が練習やサークル活動等で使用する申込を対象に受付(ダイビングプールにおいては面貸し)

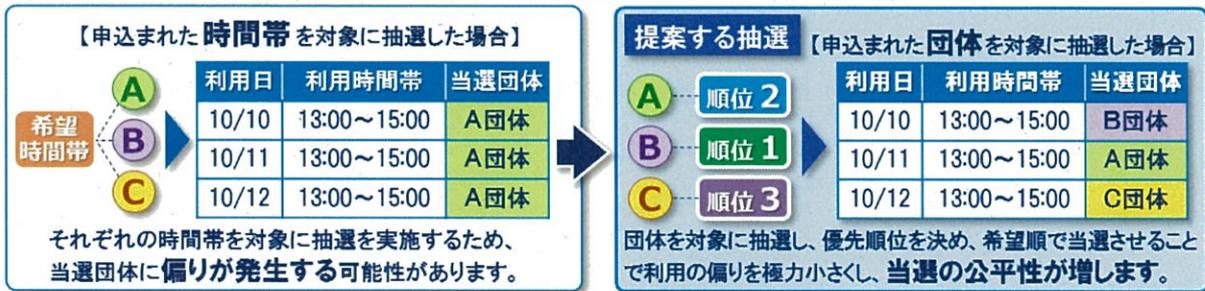


図-団体を対象とした抽選で公平性を確保

2 個人使用における施設提供

- ・一般受付①の利用調整終了後、個人使用として使用可能なレーン数を定めます。
- ・施設の特性である**可動壁や可動床を有効的に活用**し、高速・中速・低速・ウォーキングのレーン、**要望の多い競泳スタート時の飛び込み練習用レーン**などを設定します。
- ・5ヵ月前から一般公開日を設定するとともに、ホームページ等で情報を公開し、**利用者へ十分な周知期間を確保**します。

3 その他特記事項

■ スポーツ外での利用

- ・優先受付及び調整後の空いている日程に対し、スポーツショーやイベントなどの要望があった際は、**公益性を担保**しながら利用を調整して受け入れ、**指定管理料の削減**に結び付けます。

■ 「東京都スポーツ施設予約システム」の活用

- ・本施設に導入予定の「東京都スポーツ施設予約システム(以下「予約システム」という。)」は、駒沢オリンピック公園総合運動場の指定管理を通じて、**代表団体Aがシステムを構築し、現在も円滑に運用**をしています。
- ・予約システムへの**データ移行を予め見据え**、導入前の各種予約受付については、「予約管理台帳」、「入金管理台帳」などの**様式を予約システムに準拠した形で作成**します。
- ・予約システムへ本施設の**情報・機能を追加**する際は、ノウハウを生かすことで、**構築期間を短縮**するだけでなく、**システムに精通した職員による安定した作業**をお約束します。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ



(3) 利用料金

Blank area for content related to the section header.

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

【別表】

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕1施設の提供  
(3) 利用料金



【別表】

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕1施設の提供  
(3) 利用料金



【別表】

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕1施設の提供  
(3) 利用料金



【別表】

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕1施設の提供  
(3) 利用料金



(1) プール運営業務

競技会主催者や来場者、個人利用者など誰もが「安心」「安全」に施設を利用でき、「快適」な時間を過ごしていただけるプール運営を行います

- 多様な利用者ニーズに対応したアクアティクスセンターならではのプール運営を行います。
- 主催者や団体利用を含む全ての利用者へ対する安心と安全の運営体制を構築し実践します。
- 透明度の高い水質保全の提供により世界に誇れる水泳場の実現を目指します。

1 多様な利用者ニーズに応えるプール運営の提供

■ 施設・設備を最大限に活用した運営

- ・可動床や可動壁など、本施設のプール設備機能を活用し、子供から高齢者・初心者から上級者まで様々な利用者のニーズに対応したプール運営を行います。競技会来場者等を含め、年間100万人の来場者を目指し、地域の活性化などスポーツクラスター構想にも貢献します。

(1) メインプール・サブプール（レーン貸し・面貸し利用及び個人使用）

- ・利用の調整が終了した後、レーン貸し・面貸し及び個人使用として貸出・開放が可能な日程を選定し、利用者の多様なニーズに対応できるレーンの分割設定を実施します。
- ・曜日や季節に合わせて予め分割スケジュールを設定し、ホームページ等で周知することで各利用者の利用スケジュール設定等に配慮します。

① 50m（長水路）設定

- ・屋内の50mプールは都内にも数が少ないため、上級者による団体利用や個人利用などの利用者ニーズに対応し、利用促進を図ります。

② 25m（短水路）設定

- ・25m設定は水泳以外にもウォーキングなど健康増進を目的とした利用も多く、プール利用において最も利用者ニーズが高い設定であると考えます。
- ・25m×2面という特性を生かした様々な利用シーンに対応した運用を実施することで、利用者層の裾野や利用者数の拡大を促進し、誰もが気軽にスポーツに親しむ場を提供します。

③ 1/4面設定

- ・夏季においては、小学校等の夏休み期間となり、子供たちによる水遊びとしてのニーズが高まるため、コースロープを外したフリーゾーンでの運用を実施します。
- ・フリーゾーンの運用により、水遊びなど年齢や泳力を問わず家族で利用できる場を提供し、施設の魅力向上に貢献します。



図-50m 設定運用例

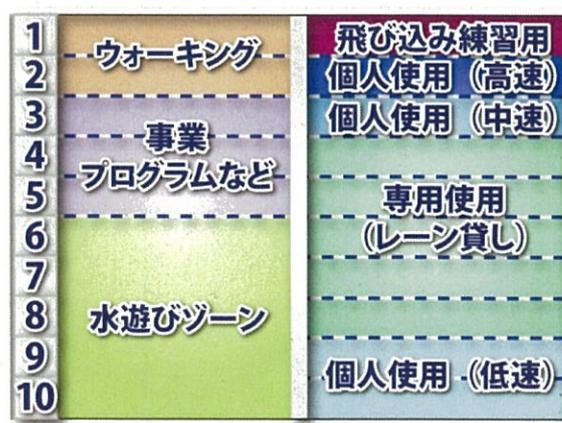


図-25m 設定運用例

(2) ダイビングプール利用時

- ・面貸し設定での施設提供を実施し、水球、スキューバダイビング、アーティスティックスイミングなどダイビングプールならではの利用者ニーズに対応します。
- ・施設の吊りバトンを有効に活用し、ダイビングプールとメインプールの間にネットを設置することで、水球などにおける防球対策を施し、利用者の安心・安全の向上を図ります。

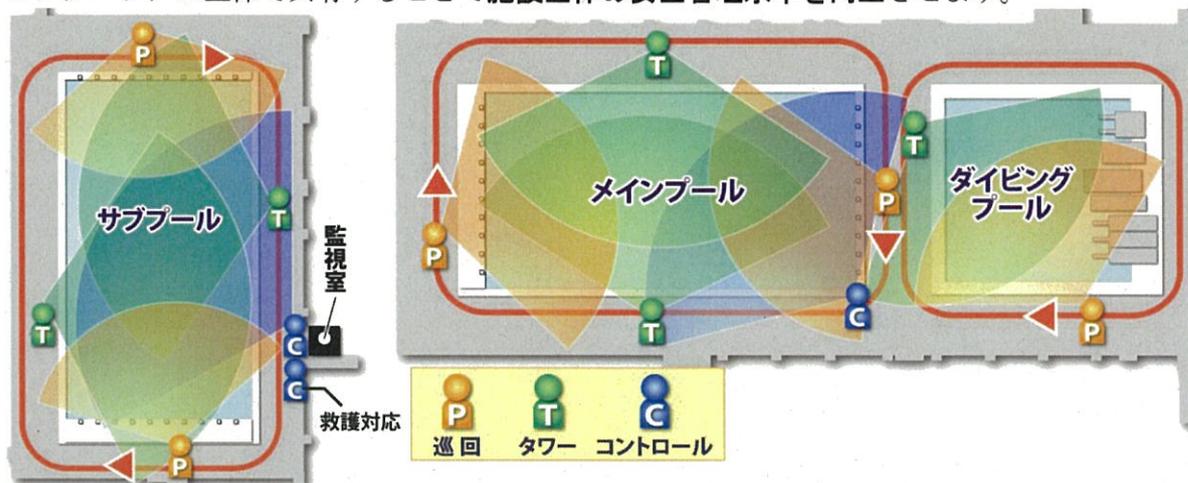
事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

2 利用者の「安心」「安全」「快適」な利用サポート

■ プール監視体制・安全管理

- ・水面やプールサイドなどを中心にしたプール全体に加え、ドライランド、採暖室や更衣室まで、利用者動線全域をカバーする監視体制を整備することで、水泳者や休憩者など利用者全体の安全確保及び事故防止を徹底します。
- ・プール監視業務においては、多数の指定管理者施設を運営している実績に加え、民間のプール施設を運営する経験やノウハウを活用します。独自のハイレベルな安全品質基準のもと、適切な安全管理体制を整備します。
- ・利用者への声掛けなど、積極的なコミュニケーションにより、顔色や身体状態などから体調管理を把握します。
- ・施設初利用者、子供・高齢者、障害者等へのサポート対応などを従事者に徹底するとともに、コンソーシアム全体で共有することで施設全体の安全管理水準を向上させます。



**監視のポイント**

- ▶ 利用者の年齢、体格、泳力等に応じ、利用するプールやエリアの指示、保護者等の付き添い等を指導
- ▶ 障害者や高齢者などでサポートが必要な場面では監視業務に支障のない範囲で対応するとともに、事故やトラブルの未然防止に努めるよう注視すること

図-東京アクアティクスセンター プール監視体制

(2) 緊急時の対応

- ・安全第一を徹底し、可能な限り事故等の未然防止に努めます。万一事故や災害等が発生した場合には、施設管理における危機管理マニュアルに基づき、コンソーシアム間や東京都、他管理スポーツ施設と連携・共有し、被害を最小限に抑える迅速かつ的確に対応します。
- ・傷病者が発生した場合、日本赤十字社の救急法救急員資格を有する看護業務員が主として対応します。その他スタッフは、看護業務員の指示に従い、連携しながら対応します。
- ・緊急時により迅速な対応が可能となるよう、臨時職員を含め全てのスタッフに東京消防庁による心肺蘇生法やAED使用方法などの救命講習を受講させます。
- ・傷病者の状況ごとに対応マニュアルを整備・周知徹底する他、メンテナンス休館等を活用した溺者の引き上げ・搬送訓練、AED訓練などの様々な実地訓練を定期的を実施し、スタッフ全体の救急対応における意識や技術の向上を図ります。



図-緊急時の事象別対応フロー例

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(3) 使用認定条件による安全・安心の確保

- 個人使用時における小学生の利用希望者やダイビングプールの利用者等には、申請書の提出及びライフガードによる100m以上の泳力チェック、飛込みに関する簡易講座、飛込み高さの段階テストの実施など、プール規格や水深に応じた当グループが定める使用基準に基づいた認定条件を設定し、安心・安全な利用環境を提供します。

(4) バリアフリーへの対応

- 視覚障害者誘導用ブロックや点字などのハード面においては整備済みであると想定されますが、水中用車椅子やラダーなどの備品も準備します。
- 筆談、多言語対応等の「情報バリアフリー」、介助を必要とする方に対する理解・認識や積極的な行動・支援による「心のバリアフリー」など、外国人・障害者・高齢者等、利用者の状況に応じ、適切に対応します。
- 誰もが安心・快適に施設を利用できるように十分配慮することで、多様性が尊重される「ダイバーシティ・東京」の実現に貢献します。
- 既設の車いす置場の他、ベビーカー置場、補助犬を預かるケージ、車いすシャワー室用のシャワー用車いすなどを整備し、様々な利用者の利便性向上を図ります。
- スタッフは、接遇向上研修を受講する他、国や自治体を実施する障害者理解促進に関する研修、民間団体等で実施しているボランティア活動、障害者スポーツに関する取組等にも積極的に参加し、バリアフリーに対する理解・意識の向上を図ります。

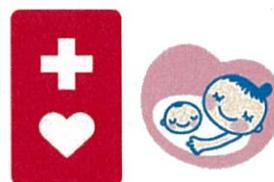


図-手助けや配慮が必要なマーク  
(左:ヘルプマーク、右:マタニティマーク)

3 競技会等行事の成功に向けた運営サポート

■ 経験実績に基づいたきめ細かなサービス

- 当グループでは、単純に施設の貸出を行うだけではなく、行事主催者の「パートナー」として主催者の立場に立って親身な対応を行います。
- 国際大会を始めとする各行事を成功に導くため、知識や経験を豊富に有するサービス業務担当者や備品・附属設備を熟知した設備業務担当者などが、総力を挙げてサポートします。

区分		サポート内容
安全対策	無料	▶吊りバトンの昇降など、設備操作は使用方法等を熟知した本施設担当者が実施
		▶消防法や火災予防条例等に準じた避難経路の確保などのアドバイス
		▶物品販売やブース展開などにおける設置場所や動線等のアドバイス及びサポート
行事運営サポート	無料	▶協賛等スポンサー展開による売店・自動販売機などの専売・マスク対応
	有料	▶各種設営業務（記録計測器など競技会に必要な備品等の準備・撤去）
		▶監視員等派遣業務（競技会の内容に合わせた監視員体制など）
		▶各種警備業務（警備・整理・誘導など）
		▶各種清掃業務（屋外ケータリング展開など通常清掃範囲外における特別清掃など）
▶主催者ゴミ処分代行業務		
機器操作サポート	無料	▶電光表示板の操作方法サポート
	有料	▶音響・放送設備の操作方法サポート
		▶大型映像装置及び機器操作業務
		▶競泳記録装置操作サポート（担当者派遣）

表-当グループが行う主な行事運営サポート内容例

- 主催者との担当窓口を専任スタッフに一本化することで、問合せや要望情報の一元化、迅速な対応等を可能とし、主催者との密な連携体制や高い信頼関係を構築します。
- 行事の当日では、主催者と緊密な連携やコミュニケーションを図り、安心・安全・快適・円滑な行事運営と来場者の観覧環境などの施設利用を提供します。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

■ 行事運営における特殊な対応への各種アドバイスなど

- ・ 行事の開催において、VIP 対応や近隣への配慮等、特殊な対応が必要となる場合があります。当グループが持つ実績や経験を生かし、主催者へ適切なアドバイス等を提供するとともに、円滑な行事運営サポートを実施する他、**地域に愛される施設の運営**に努めます。

<b>VIP</b> (皇室・政府関係者・ 各国大使等)	▶ 様々なスポーツ施設を管理している実績や経験を踏まえ、警備・動線計画などを始めとする対応方法に対して適切なアドバイスを実施する他、主催者・東京都・各関係機関と連携を図り、万全な警備体制を構築します。 ▶ 主催者の要望によっては、館長がVIPの誘導及び案内を担当します。
<b>国際競技団体によるインスペクション</b> (施設視察)	▶ 国際規模の競技会で実施される国際競技連盟等のインスペクションに際しては、大規模施設の管理運営実績や数々の当該対応実績のもと、主催者に最大限協力します。
<b>近隣住民</b>	▶ 大勢の来場者が見込まれる行事の開催時においては、駐車場の待機車両や最寄り駅から本施設までの来場者滞留などが発生する可能性が大いに想定されるため、主催者に対し周辺近隣対策に関するアドバイスの提供や所轄警察署等と適宜相談のうえ、連携を図っていくことで、地域に配慮した施設管理・運営を行います。

図-当グループが行う主な行事運営サポート内容例

■ 東京 2020 大会及びテストイベントへの協力

- ・ 東京 2020 大会及びテストイベントにおいては、基本方針に記載のとおり、東京都や（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会等における**行事の開催・成功に向けた取組に当グループの総力を挙げて全面的に協力**します。

4 スタッフの配置及び教育研修

■ スタッフの配置

- ・ 管理責任者、衛生管理者、監視員及び看護業務員からなる管理体制を構築します。

巡回監視は歩きながらチェックを行うことやロッカーチェック事には物入れや鍵のかかっていないロッカー内部を確認するなど、**集中力を持続させる仕組み**をマニュアルとして盛り込み、安全管理に徹します。



図-プール監視  
(辰巳実例)

■ スタッフの教育研修

- ・ **教育研修カリキュラム等を準備**し、新たに雇用した従事者に対して、就業前に同様の教育、訓練を行います。
- ・ 50m競泳用プール運営時と 25mでのプール運営時の可動壁と床の状況に応じた救助を常に想定し、**月 1 回以上の水中救助訓練**を行います。
- ・ プール担当者全員に出勤時の CPR 訓練を義務付けます。



図-毎日の CPR 訓練

呼称	種別	人数	取得資格	スキル
プール監視責任者	常勤	1名	下記のいずれかの資格保有者 ・ 日本体育施設協会 水泳指導管理士 ・ 日本体育協会 公認上級水泳指導員 ・ 日本体育協会 公認水泳指導員 ・ 日本赤十字社 水上安全法救助員（指導員）	・ 500m 以上の泳力 ・ 類似施設責任者経験 5 年以上
プール指導責任者	常勤	1名	下記のいずれかの資格保有者 ・ 日本体育施設協会 水泳指導管理士 ・ 日本赤十字社 水上安全法救助員（指導員） ・ 日本赤十字社 救急法救急員（指導員）	・ 500m 以上の泳力 ・ 類似施設責任者経験 3 年以上

表-プール配置スタッフの資格(その 1)

事業者名・団体名	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ
----------	-----------------------------

提案課題 2 「施設の提供、運営に関する業務」 1 施設の提供

呼称	種別	人数	取得資格	スキル
監視員	臨時スタッフ	60名	50%以上のスタッフ 下記のいずれかの資格保有者 ・日本水泳連盟 基礎水泳指導員 ・文部科学大臣認定 水泳教師、水泳コーチ、水泳指導員 ・日本赤十字社 水上安全法救助員（指導員） ・日本ライフセービング協会ウォーター・ライフセーバー ・NPO 法人日本災害救護推進協議会 A 級ライフガード その他 ・救命手当（CPR、AED、異物除去等）に関する社内研修修了者	・500m 以上の泳力
看護業務員	臨時スタッフ	10名	・日本赤十字社 救急法救急員	—

表-プール配置スタッフの資格(その2)

※配置監視員のうち、1名以上は「東京都障害者スポーツ指導員講習会」または「障がい者スポーツ指導員養成研究会」受講者

※プールの監視体制は、メインプール・ダイビングプールは7ポイント以上（総括責任者1ポイントを含む）、サブプールは6ポイント以上

5 水質管理・清掃管理

■ 高い品質を保つための水質管理

- ・関係法令を踏まえ、ノウハウに基づくより**厳しい自己管理基準**により、透明度の高い水質保全を行います。基準値を超える数値を検出した場合には、**直ちに関係機関に連絡**を行うとともに、迅速かつ適切な処置を講じます。
- ・目視によるプール槽点検や、清掃を実施するとともに、営業時間の**毎時間に水温、室温、残留塩素測定、PH 測定、透明度の測定を実施**し、業務日誌として管理事務所で保管します。



図-定時の水質検査の様子(辰巳)

項目	厚生労働省 「遊泳用プールの衛生基準」	東京都	当グループ 自主管理基準	回数・頻度
遊離残留塩素濃度	0.4 ~ 1.0mg/L	0.4mg/l以上 となるようにすること (1.0mg/l以下が望ましい)	0.5~0.7mg/L	1時間ごと
水素イオン濃度 (PH)	5.8 ~ 8.6	PH 値 5.8 から 8.6 まで	6.8 ~ 7.4	1日2回
濁度	2.0 度以下	2 度を超えない	0.5 度以下	1 カ月ごと
過マンガン酸 カリウム消費量	12mg/L 以下	1lにつき 12mg を超えない	5.0mg/L 以下	1 カ月ごと
大腸菌	不検出	100ml中に 検出されないこと	不検出	1 カ月ごと
一般細菌	200 CFU/ml 以下	1mlにつき 200CFU を超えない	150 CFU/ml 以下	1 カ月ごと
総トリハロメタン	概ね 0.2mg/L 以下が望ましい	-	0.1mg/L 以下	1年ごと
レジオネラ属菌	不検出	不検出	不検出	1 カ月ごと

表-水質管理基準

■ 常に衛生的な環境を保つための清掃管理

- ・施設内は整理整頓するとともに、計画書に基づいた清掃を実施し、常に**衛生的な環境の維持**に努めます。また、プール内は**水抜きの際に定期清掃**を実施します。辰巳では、5月にメインプール、11月にメイン・サブ・ダイビングプールの水抜き清掃を実施しています。
- ・**建築物清掃管理評価資格者（1級）**による**インスペクション（品質評価）**を実施し、最適な清掃方法と継続的な品質向上を図ります。
- ・作業にあたっては、注意表示等を行ってから実施します。また、施設内の運営状況を考慮し、できるだけ**利用者がいない時間帯等**に行います。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(2) 飛び込み用トレーニングルーム運営業務

安全最優先の運営で飛込競技の競技力向上に寄与します

- 飛び込み用トレーニングルームの利用案内を明確に提示します。
- 練習時には利用団体とのダブル監視体制を徹底し、競技者が安心して練習できる環境を整えます。
- 日常点検表に基づく安全点検を行い、事故を未然に防ぐ運営に努めます。
- 施設の特性を生かした運営により、競技力の向上と裾野の拡大を図ります。

1 安全最優先の運営

■ 利用者に対する利用案内

- ・施設利用の承認基準として「**使用するための条件**」を定め、施設利用希望者に確認します。また、申込時及び利用当日には、「**利用上の注意事項**」を提示し、徹底した注意喚起を行います。

**使用するための条件**

- ▶ (公財)日本体育協会公認スポーツ指導者等の有資格者が在籍する団体であること
- ▶ 利用時には、有資格者など専門的な知識を持つ指導者を同伴させること
- ▶ 競技者がスポーツ傷害保険に加入していること
- ▶ 原則、1団体のみでの使用であること(複数団体での使用は、原則不可)
- ▶ 指定管理者が指定する指導者講習会を受講していること

**利用上の注意事項**

- 運動に適切な服装をしていること
- 貴金属類を装着していないこと
- 頭からの入水練習や足からの棒飛び練習は行わず、背落ちや腹落ちなど着地面積が広い姿勢で落ちる練習に利用すること
- 使用の前後にはスポンジチップを攪拌し、均等な状態であることを必ず確認すること

■ 練習時の監視体制

- ・各プール、トレーニングルームと同様に練習時には監視員を配置し、指導者など利用団体との**ダブル監視体制**を徹底することで競技者の安全を確保し、安心して練習できる環境を整えます。

■ 日常における設備点検

- ・設備点検の指針として**日常点検表**を作成し、当該施設の利用前及び利用団体の入替え時には必ず点検表に基づく安全点検を行い、競技者が安心して練習できる環境を整備します。
- ・マット及びスポンジチップは、競技者の身体ダメージを吸収し事故防止に重要な役割を果たすことから、定期的なチェックを行い、スポンジチップについては攪拌、補充及び入替え等を確実に実施するなど、**事故を未然に防ぐ運営**に努めます。

■ 専門的な視点を取り入れた安全の確保

- ・日水連や構成団体Dの飛込委員会と連携した設備点検及び利用方法の確認を定期的に行い、専門的な視点を取り入れた安全確保を目指します。

2 施設の特性を生かした施設運営による競技力向上と裾野の拡大

■ 競技力の向上

- ・本格的な飛込競技専用のトレーニングルームであり、国内では**3例目の設置**となる当該施設の特長を最大限に生かし、**トップチーム等の練習場所**として施設を積極的に提供することで、アスリートをサポートします。

■ 裾野の拡大

- ・フィットネスクラブ運営企業として**都内で唯一飛込チームを有する構成団体C**の実績やネットワークを生かし、初心者を対象とした飛込教室を開催するなど、**飛込競技の裾野の拡大**を図ります。

■ 指導者育成の取組

- ・東京都の水泳競技の統括団体である構成団体Dが中心となって指導者講習会を行い、指導者の育成を通じた利用団体の拡大を図ります。



図-飛込競技用トレーニングルームの実例 (イタリア・ローマ)

事業者名・団体名	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ
----------	-----------------------------

(3) トレーニングルーム運営業務

トレーニングを「知る、学ぶ、する」施設を創ります

- トレーニングや運動に関する本施設内の情報発信基地になります。
- 年齢・性別に関係なく、トレーニングや運動について興味のある人が誰でも気軽に来室できる環境を整えます。
- 高齢者や初めての利用者へのサポートを充実し、継続利用につなげます。

1 近隣施設の状況と周辺商圏の特徴

■ 近隣施設の状況・分析

- ・辰巳は、一般のプールとは異なり、**ビジネスパーソンによる夜の個人利用が多い施設**です。
- ・新木場駅を挟んで反対側の夢の島公園内東京スポーツ文化館はマシンの空き待ちをするような混雑は見られません。

■ 周辺商圏の特徴

- ・本施設周辺 2km 圏内では、5 歳までの子供をもつ親世代の割合が高くなっています。また、情報通信、金融・保険などに携わる比較的年収の高いビジネスパーソンが多く在住しています。

2 施設コンセプト

- ・「水泳愛好家」の集まる施設の特性上から、「水泳愛好家」に使いやすいトレーニングルームとします。
- ・周辺商圏の特徴から、20 代から 40 代の意識の高い世代の利用を呼び込めるトレーニングルームとします。
- ・シルバー世代も安全にトレーニングできる環境を整備します。
- ・年代や性別、身体能力や知識レベルに応じたその人なりの身体活動につながる、**トレーニングを「知る、学ぶ、する」施設**にします。
- ・東京都の水泳競技を統括する構成団体 D や東体協による「指導者のためのトレーニング」や「競技種目別トレーニング」などの専門性の高い講習会を実施し、普及に努めます。



図-水泳愛好家にとって使いやすいトレーニングルームを整備

3 施設運営方法

■ 専門知識と経験を有するスタッフの配置

- ・責任者には、トレーニングについて専門知識と経験を有するスタッフを配置します。

■ 安全管理体制の充実

- ・救急救命及び AED 取扱の講習を受けたスタッフを従事させるとともに、毎日、従事前の心肺蘇生法 (CPR) トレーニングを行います。

■ 全国 200 以上の公共を含むスポーツ施設を運営する構成団体 C の充実したサポート体制

- ・すべての自社クラブ及び公共のスポーツ施設で導入している「初めてサポート」を当施設でも実施し、高齢者や初めての利用者でもトレーニングや運動が比較的簡単にスタートできるようにし、常時 2 名のトレーナーを配置します。

■ 構成団体 C のオリジナルプログラム「スモールトレーニングエクササイズ」の実施

- ・少人数のグループで、様々な道具を使ったエクササイズを実施し、レベルやスタイルに合わせたトレーニングのアイデアやヒントを紹介します。

提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]  
3 施設内サービス及び東京 2020 大会のメモリアルの展示

(1) 施設内サービスに関する業務

全ての人が利用しやすく、わかりやすいサービスを提供します

- ❑ 施設全体をワンストップで案内できる機能を受付各所に持たせ、各種問合せに対し柔軟に対応します。
- ❑ 施設の使用状況に最適な受付配置と出入口の整備を行います。
- ❑ 利用者の声を踏まえた継続的な業務改善により、施設サービスの向上を図ります。
- ❑ 都立スポーツ施設として公平かつ適正な対応を心がけます。

1 快適に施設を利用できる受付体制の構築

■ 使用状況に応じた受付等の配置と入口の運用

- ・各施設の配置と利用者の動線に合わせて最適な位置に受付を配置するとともに、各受付には施設全体をワンストップで案内できる機能を持たせ、利便性の向上を図ります。



図-施設運用に応じた受付等の運用方法

2 施設の魅力を高める快適、安心なサポート

■ 快適に利用できる案内の充実

- ・2020 改革の一つである「施設サービス魅力向上プロジェクト」の目指す方向性を踏まえ、入館から退館に至るまで来館者が快適に過ごすことができるよう、様々な視点に立って施設環境を整えます。
- ・わかりやすく見やすい場所に施設配置や利用案内を掲示します。案内表示は、デザイン統一を図ることで施設の美観を損ねないよう配慮するとともに、注意喚起については丁寧かつ平易な表現となるよう心がけます。

■ 利用者にとって快適、安心な受付システム

- ・丁寧な接遇に努めるとともに、経済産業省の「おもてなし規格認証」の取得を目指します。
- ・サービス品質向上のため、様々な利用者の目線に立った施設内サービスに取り組みます。

接客支援ツールの整備

外国語対応マニュアルや、多言語翻訳ソフト等の導入を推進

サイン計画  
(当グループ施工分)

ISO国際規格に準じたサインユニバーサルカラーの導入、子供や高齢者の目線に配慮した設置場所の工夫

各種利用サポートの実施

耳マーク等の掲示、車椅子の無料貸し出しや耳の不自由な方に配慮した筆談器の設置、家族更衣室の整備

図-施設内サービスの取組みの一例

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]  
3 施設内サービス及び東京 2020 大会のメモリアルの展示

3 利用者ニーズ把握のための取組

■ 意見・要望等を引き出す仕組みの構築

- 様々な方法を用いて利用者の意見・要望を把握します。

収集方法	内容
利用団体等へのヒアリング	・主催者や関係者からの意見・要望も重要であるため、利用団体との打ち合わせ等でヒアリングを実施します。
利用者懇談会及び周辺施設との意見交換会	・利用者懇談会や、周辺施設連絡協議会等を開催し、利用団体や周辺施設等の意見を直接伺う機会を設けます。
スタッフによる声の収集	・窓口等において、スタッフによる利用者との日常的なコミュニケーションを通じ、利用者の「生の声」を収集します。
ご意見箱の設置	・定期的に利用者からの意見・要望を収集します。
ホームページ等	・ホームページ等を活用し、休館日・営業時間外も意見・要望を受け付ける体制をとります。

表-利用者意見の収集方法

■ 継続的な業務改善と内部共有

- 各業務の責任者から構成される**実務担当者会議**で利用者等の意見・要望等及び対応経過を共有します。
- 利用者ニーズを踏まえた業務改善の結果については、PDCA マネジメントサイクルに基づき継続的に見直します。
- さらに、東京都や他の指定管理者と意見交換を行う**パートナーシップ会議**を活用し、都政の方向性と連動しながら施設サービスの向上を図っていきます。



図-PDCA サイクルに基づいた継続的な改善

4 苦情・要望等に対する対応方法

■ 意見等の反映・改善の仕組み

(1) 誠実かつ迅速な対応体制

- 対応マニュアルや質疑応答集を作成し、苦情等が発生した際に誰もが適切に対応できる体制を整えます。
- 苦情や要望を受けた場合は真摯に受け止め、速やかに内容を検討し公正・迅速に対応します。処理経過については報告書にまとめ、館長及び東京都に報告するとともに、効率的・効果的な対応策を検討します。

(2) 利用者への公表

- 対応策決定後、東京都及び館内各署に情報共有を行うとともに、利用者に対し苦情・要望内容及びその改善策を公表します。
- 公表は施設内掲示やホームページなどで行い、**都立スポーツ施設としての説明責任**を果たします。

(3) 改善策の共有

- 当グループが管理している 4 施設に対応経過や取組内容を共有し、各施設が状況に応じて改善を図ることで、グループ全体のサービス水準の向上につなげます。

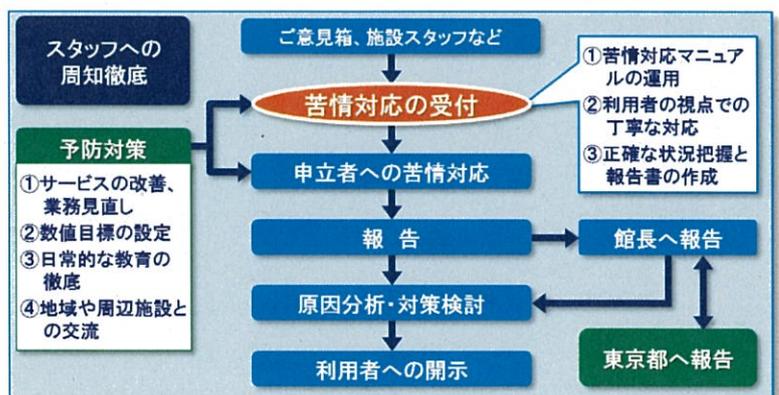


図-苦情対応フロー

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

3 施設内サービス及び東京 2020 大会のメモリアルの展示

(2) 東京 2020 大会メモリアル展示に関する業務

観る人の記憶とともに新たな発見が得られる魅力的な空間を創ります

- 東京 2020 大会の記録と記憶を後世に伝えるために、大会の関連資料や情報を展示します。
- ICT機器等を活用し、大会の臨場感や水泳競技の魅力を体験できるコンテンツを検討します。
- 大会後も水泳競技に関する情報を収集し、展示方法や説明を工夫しながら効果的に発信していきます。

1 1964 年大会と東京 2020 大会を結びつけ、未来へ継承する取組

■ 大会レガシーの継承

- ・東京におけるオリンピック・パラリンピック開催の記憶とその遺産を未来へ継承するため、東京 2020 大会メモリアルギャラリーにおける企画展、特別展を積極的に展開します。

■ 利用者からの質問等への対応

- ・受付窓口には展示物、内容を熟知した案内係員を配置し利用者からの質問に対し、柔軟かつ円滑に回答できる態勢をとります。

■ 東京 2020 大会に関する資料紹介、常設展示・企画展示

- ・東京都の協力を得て、東京 2020 大会の競技会場である本施設の建築工程に関する資料を展示し、本施設の歴史を承継していくとともに、来場者等に対して分かりやすい説明を心がけます。
- ・常設展示では、大型スクリーンで開会式や水泳競技の各種目のハイライト、種目別のガイド等を鑑賞できるようにします。
- ・企画展示では、東京 2020 大会の情報にとどまらず、水泳競技に関するオリンピックの歴史を紹介するなど、個別にテーマを設定して定期的に展示を入れ替えながら、常に新鮮な情報を発信することでリピーターの拡大を図ります。
- ・駒沢オリンピック公園総合運動場の東京オリンピックメモリアルギャラリーと連携し、1964 年大会と東京 2020 大会を結びつける展示を行います。
- ・構成団体 D 及び日水連との連携・協力により、東京 2020 大会等で獲得したメダル展示や国際水泳大会の競技のハイライト映像の放映等を行います。

■ オリンピック・パラリンピックムーブメントへの協力

- ・東京 2020 大会後も、国際水泳大会等における日本人選手の活躍をフォローしていくとともに、2024 年のパリ大会・2028 年のロサンゼルス大会に向けて、気運醸成を目的とした特別展を開催するなど、日本人選手の活躍への期待を盛り上げていきます。

■ 来場者拡大への取組

- ・観光目的での来場も視野に入れた検討を行うほか、ギャラリーの魅力についてホームページ等で積極的に広報します。

■ 案内業務に向けた工夫

- ・多言語表記や外国語による音声案内ツールを導入するなど、外国人にも利用しやすい施設とします。
- ・来場者の満足度を高めるために、事業者の選定にプロポーザル方式を用いることでコンテンツの充実等を図っていきます。



図-ICT を活用した展示施設の例①  
(飛び込み競技の VR 体験)

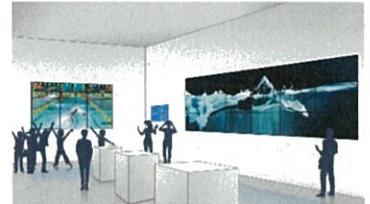


図-ICT を活用した展示施設の例②  
(ダイナミックなスクリーン映像)



図-ICT を活用した展示施設の例③  
(タッチパネルディスプレイ)



図-大会レガシーの継承事例  
(世界競泳 2007: 千葉県国際総合水泳場)



図-満足度の高い案内・説明  
(駒沢オリンピック公園総合運動場)

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 3 「スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務」

1 事業の提供

(1) スポーツ振興事業

スポーツ都市東京の実現に向け、東京都のスポーツ施策に沿った事業を展開します

- スポーツ実施率 70%の達成に向け、対象を明確にした効果的な事業を展開します。
- 世界最高水準の水泳場を生かし、競技力の向上に貢献します。
- スポーツを通じた共生社会の実現に向け、ダイバーシティを意識した事業を展開します。
- 地元チームの応援や交流を通じ、地域の活性化を促進します。
- 水泳医学相談により、生涯スポーツとしての水泳の推進と健康体づくりに寄与します。

1 事業実施における基本的な考え方

- ・「東京都スポーツ推進総合計画」における「**スポーツの力で東京の未来を創る**」という基本理念のもと、都民のスポーツ実施率 70%を達成し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「**スポーツ都市東京**」の実現を目指すため、効果的な事業を展開していきます。

	『する』スポーツ	『みる』スポーツ	『支える』スポーツ
健康 長寿	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ スポーツ・レクリエーションイベントの開催</li> <li>□ 競技力向上の機会創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 大会・スポーツイベントの情報発信（日本選手権等への招待）</li> <li>□ バックヤードツアー等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 競技会等の運営協力を通じたスポーツボランティアの育成</li> <li>□ スポーツ指導者の育成</li> </ul>
共生 社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 誰もが参加・体験できるスポーツイベント・教室の開催（障害のある方、高齢者、女性等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 障害者スポーツの更なる魅力発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 多様なスポーツの振興に向けた人材の育成</li> </ul>
地域 経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 多くの人が参加可能なスポーツイベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 新たな視点でのスポーツ観戦の魅力発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 民間スポーツクラブや学校での水泳指導者交流の場を提供</li> </ul>

図-「スポーツ都市東京」の実現に向けたスポーツ振興事業の展開

- ・東京 2020 大会で盛り上がった気運を生かすとともに、「水泳の聖地」としてグループ一丸となって**水泳振興の拠点として先導的な事業を展開**します。

2 具体的な取り組み

■ スポーツ実施率 70%に向け対象を明確にした事業展開

(1) スポーツを実施する機会の創出

- ・実施率向上のカギとなる働き世代・子育て世代・高齢者世代を主な対象として事業を実施します。
- ・「**カヌー初心者スクール**」や「**スキューバダイビング体験**」など普段体験できないスポーツを取り上げたり、「**親子で楽しむチャレンジスポーツ**」などの親子向けの事業を実施することで働き世代や子育て世代のスポーツ実践を促し、スポーツへの関心と意欲を高めます。
- ・「**水中リハビリテーションプログラム**」を通じて、介護予防に寄与するとともに、高齢者がいきいきと健康的に活動できるよう支援します。

(2) 事業への参加促進とスポーツの習慣化に向けた取組

- ・働き世代や子育て世代が参加しやすいように事業実施時間の工夫による利用機会の拡大を図ります。なお、事業の振返りを動画や SNS で配信し、スポーツの習慣化に寄与する取組を行います。

■ 世界最高水準の水泳場を生かした競技力の向上

(1) 競技力向上の取組を通じたスポーツ実施の推進

- ・競泳愛好者や競技者に対して、「**スイマーフォームクリニック**」を行い、泳法やスタート、ターンの技術の取得、トレーニング方法などを個人のレベルや目的に合わせ、映像などの**効果的な指導・アドバイス**を実施します。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

1 事業の提供

(2) 指導者の啓発

- ・指導者の啓発や指導技術の向上（女性アスリートに対する指導含む）を行うために、国内の水泳指導者が一堂に会する機会と場所を提供し、講演やシンポジウムを行う「水泳コンベンション in アクア」を開催し、各地区水泳協会や民間スポーツクラブ、学校部活動の指導者等が相互交流できる機会を設けます。

(3) 障害者アスリートの競技力向上

- ・障害者の水泳における競技力向上を図る機会を提供するとともに、(公社)東京都障害者スポーツ協会等に協力し障害者アスリートの競技力向上に寄与します。

(4) アクアティクスセンター杯水泳大会の開催

- ・地域住民や自主水泳等で活動している競技者を対象に、障害者も参加可能な「アクアティクスセンター杯水泳大会」を開催し、日頃の成果の発表の場とし、参加者による交流促進を図ります。



図-アクアティクスセンター杯の開催  
(辰巳杯の様子)

■ スポーツを通じた共生社会の実現に向けた  
ダイバーシティを意識した事業の展開

- ・性別や年齢、障害の有無を問わず、全ての人々がスポーツを楽しむことが出来る社会の実現のため、誰もが身近にスポーツを始められる機会や、多様なスポーツ振興に向けた人材育成及び交流の場を提供します。
- ・実施にあたっては、(公財)東京都体育協会や(公社)東京都障害者スポーツ協会、(一社)東京都レクリエーション協会等と連携し、多様なスポーツの振興に努めていきます。

(1) ユニバーサルスポーツの振興

- ・(公社)東京都障害者スポーツ協会、(一社)東京都レクリエーション協会等と連携し、「ユニバーサルスポーツ理解促進事業」など、障害の有無を超えたユニバーサルスポーツの振興・理解促進に取り組みます。



図-ユニバーサルスポーツを  
取り入れた事業を実施

(2) 障害者スポーツの振興

- ・「はじめての障害者スイミングクリニック」や「障害者の水泳指導者養成セミナー」を開催し、障害者が水に親しみ楽しめる機会を提供するとともに、障害者スポーツを支える人材を育成するなど、障害者スポーツの振興に寄与する事業を積極的に実施します。

■ トップスポーツの観戦や一流選手との交流を通じた地域の活性化

(1) トップレベルスポーツ観戦事業

- ・日水連や構成団体 D などの大会主催者との連携のもと、国際大会や日本選手権大会などのトップレベルの大会への無料招待や普段見ることのできないバックヤードツアーを行うことで、感動や夢を提供します。

(2) オリンピアン・パラリンピアンによる水泳教室

- ・日水連や JOC、JPC と連携を図るとともに、構成団体 C や構成団体 D のネットワークを活用し、オリンピック・パラリンピックに出場した選手やトップアスリートと交流できる機会を設け、水泳の振興と夢を与える事業を行います。

■ 都民の生涯スポーツの振興と健康体力づくりを目指した水泳医科学相談の実施

- ・日水連の日本水泳ドクター会議や日本水泳トレーナー会議等と連携し、最新のスポーツ医科学のエビデンス（科学的根拠）に基づき、都民一人一人に適した水泳・水中運動とリハビリテーション並びにスポーツ栄養学に関するカウンセリングサービスを実施し、生涯スポーツとしての水泳の普及・振興と健康体力づくりをサポートします。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

単位:千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	【アクアスイミングランキング10】サブプール全面 小学生を対象に、4泳法の学年別・泳法別の記録会を月1回実施する。それぞれのトップ10をランキングの上、館内に掲示する。記録更新の都度掲示を変更し小学生の競技力と水泳の取り組む姿勢の向上を図る。	子供	月1回 年12回 12日	600		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	【オリンピック水泳クリニック】サブプール全面 小・中学生を対象に、競泳4泳法のクリニックを実施する。オリンピックからの指導により、競技力向上に寄与するとともに、交流を通して水泳に対する益々の意識の高揚に寄与する。	子供	年2回 2日	200		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
3	【ジュニア世代のためのコーディネーショントレーニング】サブプール全面 小学生を対象に、遊びの要素を取り入れ、スキンシップを図りながらコーディネーションと呼ばれる基礎的な運動技術を伸ばす水中トレーニングを実施する。ジュニア世代の運動することへの苦手意識を低くし、生涯スポーツへの推進に寄与する。	子供	月1回 年12回 12日	360		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
4	【オープンウォータースイム体験会】サブプール全面 小学生以上の水泳愛好者を対象に、オープンウォータースイム体験会を実施する。新しいスポーツ競技をする機会とオープンウォータースイムの普及・振興を図る。	働き世代 女性 幼児・子供	1回 1日	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
5	【水中運動会】メインプールまたはサブプール全面 25m以上の泳力のある小・中学生とその保護者を対象に、水中運動会を実施する。玉入れやビート板積み、水中ウォークリレー等レクリエーション種目を主体に実施する。参加者間の交流を促し、水中競技の楽しさを学ぶ機会を提供する。	働き世代 女性 幼児・子供	1回 1日	200		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。</li> </ul>						支出合計①		—	
						収入合計②		—	
総合計			実施回数	参加人数					
			—	—					

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

単位:千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	対象層	時期回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
6	【親子で楽しむチャレンジスポーツ】サブプール全面 小学生と保護者を対象に、トップアスリートや著名指導者から競泳やアーティスティックスイミング、フインスイミング、サーフィン等の基本技術を学ぶ。競技の楽しさを体験することを通じ、親子でスポーツの魅力を知ることに関心を深め、さらにはスポーツ活動の継続に寄与する。	働き世代 女性 幼児・子供	1回 1日	100		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
7	【水泳コンベンションinアクア】会議室全面 国内の水泳指導者が一堂に会する機会と場所を提供する。テーマに基づく基調講演やシンポジウム及び分科会を実施し、水泳指導者の資質の向上と交流並びに水泳界の学術的發展に寄与する。	働き世代	年2回 2日	200		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
8	【カヌー初心者スクール】メインプールまたはサブプール全面 カヌーの初心者を対象に、基礎技術や基礎理論等を習得できるスクールを実施する。近隣の葛西臨海公園のそばで東京2020大会のカヌー競技が実施されるため、カヌーの健全な普及と振興に寄与する。	働き世代 女性 高齢者	年3回 3日	150		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
9	【スキューバダイビング体験】ダイビングプール全面 働き世代を対象に、スキューバダイビングの体験会を行い、筋力や心肺機能の維持・向上を図る。新たなスポーツ体験の機会を提供することにより豊かなライフスタイル作りや仲間づくりに寄与する。	働き世代	月1回 年12回 12日	120		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
10	【スイマーフォームクリニック】メインプール(1レーン)またはサブプール(1レーン)またはダイビングプール 水泳愛好者を対象に、ビデオカメラでフォームを撮影し、水泳専門家による解説をするとともに、今後のトレーニング法を指導する。また撮影したVTRは参加者個人に還元し、個人の競技力向上と生涯スポーツとしての水泳の定着を図る。	働き世代 女性 高齢者	月2回 年24回 24日	240		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。			実施回数	参加人数	支出合計①				
					—				
総合計			—	—	収入合計②				
					—				

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

単位:千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	対象層	時期回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
11	【水中リハビリテーションプログラム】サブプール全面 スポーツ実施率の低い女性・働き世代・高齢者を対象に、リハビリテーションや健康増進を目的とした水中ウォーキングや水泳指導を実施する。筋力の維持・体力向上を図ると同時に、スポーツ活動への意欲を高める。	働き世代 女性 高齢者	月1回 年12回 12日	480		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
12	【はじめての障害者スイミングクリニック】サブプール全面 障害者を対象に、障害者水泳の専門指導者による実技指導をとおして、障害者水泳の普及・競技力向上を目指す。またパラアスリートを招聘するなどし、パラアスリートが指導する機会の創出及び参加者が実際に競技を「みる」の機会を提供する。	障害者	1回 1日	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
13	【障害者水泳指導者養成セミナー】会議室またはサブプール全面 障害者水泳指導者やパラアスリートの保護者等を対象として、トップアスリートやスポーツ医・科学の各分野のスペシャリストなどを講師に招き、障害者水泳指導の専門的スキルを幅広く学ぶ講習会を実施する。直接的に競技者を「支える」人材の育成に寄与する。	障害者 指導者	1回 1日	80		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
14	【ユニバーサルスポーツ理解促進事業】会議室またはサブプール全面 高齢者・障害者の方を対象に、一緒に手軽にできるレクリエーション種目を紹介する講座や体験する機会を提供する。性別や年齢、障害の有無を問わず全ての人がスポーツを楽しむ共生社会の実現に寄与する。	高齢者 障害者	1回 1日	60		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
15	【スポーツボランティア講座】会議室全面 一般都民を対象に、スポーツボランティアについて学ぶ講習会や体験する機会を提供する。各種スポーツイベントや競技大会でのボランティア養成を促進し、スポーツ振興に必要とされる「支える」人材の育成や2020大会のレガシーの継承に寄与する。	働き世代 女性 高齢者	1回 1日	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。		総合計	実施回数	参加人数	支出合計①				
			—	—	収入合計②				
									—

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

単位:千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	対象層	時期回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
16	【アクアティクスセンター杯水泳大会】メイン・サブ・ダイビングプール全面 自主水泳サークル等、地域で活動している競技者及び障害者水泳競技者を中心に大会を行う。日頃の練習の成果を発揮する場の提供を図るとともに、誰もがスポーツを楽しむ共生社会の実現に寄与する。	子供 働き世代 女性 高齢者 障害者h	1回 1日	3,000		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
17	【世界大会・日本選手権等観戦招待事業】メインプール・ダイビングプール 一般都民を対象に、競技団体や主催者の協力を得て、本施設で実施される大規模水泳大会の観戦招待やバックヤードツアーを行う。トップアスリートの競技を直接「みる」機会を広く提供し、スポーツへの関心と意欲を一層高めることで、スポーツへの関わり、生涯スポーツの推進に寄与する。	子供 働き世代 女性 高齢者	年3回 3日	300		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
18	【水泳医科学相談】トレーニングルーム・会議室 15歳以上(中学生を除く)を対象に、日本水泳連盟の日本水泳ドクター会議や日本水泳トレーナー会議等と連携し、水泳・水中運動やリハビリテーション並びにスポーツ栄養学に関するカウンセリングサービスを実施し、都民の生涯スポーツの振興と健康体力づくりに寄与する。	働き世代 女性 高齢者	年44回 44日	440 1回 10人 ※団体受入れあり		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
19						支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
20						支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
		総合計	実施回数	参加人数	支出合計①				
			138	5,669	収入合計②				

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。
- 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。

1 事業の提供

(2) 自主事業

ニーズに対応した多彩なプログラムで生涯スポーツの拡がりを支援します

- 周辺在住都民の特性やニーズに合ったプログラムを実施します。
- プールプログラムだけでなく、スタジオや会議室を活用したプログラムを充実します。
- パーソナルスイムやパーソナルトレーニングなど、個別のニーズにも対応します。
- 集客につなげるため、SNSをはじめ、チラシや折込み広告等により、タイムリーな告知を行います。

1 周辺地域の特性とニーズ

■ 施設周辺調査の実施

- ・ 自主事業の計画にあたっては、施設に定期的に通いやすい近隣周辺在住の都民が中心となることから、その特性とニーズについて、調査しました。

■ 施設立地と利用者層の分析

- ・ 本施設の 3km 圏内の年代別人口構成では、東京都平均に比べ、0～9 歳までの子供と 30～44 歳までの大人が高い割合を示しています。
- ・ 子供たちの教室需要は潜在的に高いものと見込まれます。
- ・ 情報通信や金融・保険という比較的所得の高い企業に勤める世帯主が多く、経済的にもゆとりのある世帯が多いと思われれます。

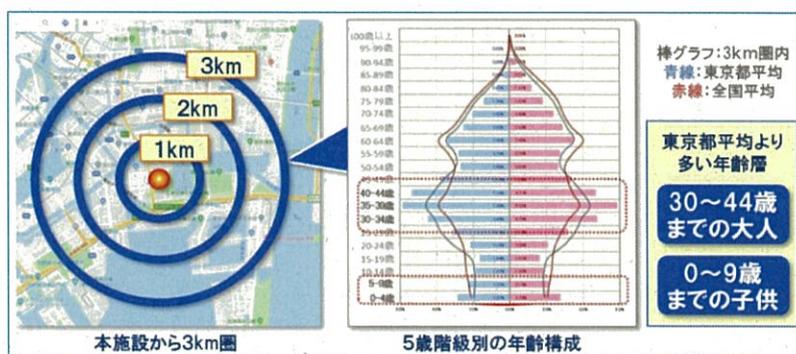


図-本施設周辺の分析

2 自主事業教室の実施計画

■ 分析結果に基づいた教室プログラムの提案

(1) 子供向けプログラム

- ・ 子供向けのスクールを充実します。体育の教室では、月 3 回を好きな日程で参加できるフリースクール方式を実施します。
- ・ 水泳教室には選手コースを設け、オリンピックだけでなく、国際的な水泳競技会の開催される本施設で育った選手が、本施設で活躍する夢をはぐくみます。

(2) 大人向けプログラム

- ・ 親子で参加できるベビースイムや託児付きのプログラムなど、乳児や幼児のいる人でも教室に参加できるように計画し、告知していきます。
- ・ 人気のあるエアロビクスやヨガ、ピラティスなどをベースに確実な集客につなげるとともに、構成団体 C の直営施設で人気のあるプログラムなども導入し、いもどりのある構成で利用者の選択の幅を広げます。
- ・ パーソナルスイムやトレーニングなど、個別指導の要望にも積極的に応えていきます。

(3) 高齢者向けプログラム

- ・ 教室形式のプログラムを週 3 回実施します。また、トレーニングルームでの無料プログラムに高齢者にも参加しやすいものを導入します。

1 事業の提供

(4) 設備・環境を活用したプログラム

- ・飛込教室や高齢者向けの水中運動と陸上運動をセットにしたプログラムなど、本施設でしか体験できない教室やプログラムも利用者の意向を把握した上で導入します。

3 効果的な事業の告知とニーズを反映した事業展開

■ 自主事業の広報活動

(1) 事業チラシの作成

紙媒体 WEB

- ・東京 2020 大会が開催されることで高まる本施設の知名度を利用し、さらに積極的に広報活動を行うことで事業の周知を図ります。
- ・カラフルで楽しいチラシを作成し、配布及び電子データの HP 掲載を行います。

(2) SNS の活用

WEB

- ・20~40 歳代の利用者に向け、SNS を使ったタイムリーな情報発信を行います。
- ・利用者（見込者含む）の反応を即座に把握できる広報ツールとして、積極的に活用します。



図-新規開業施設における事業周知チラシ（構成団体 C 実例）

■ 利用者ニーズの把握と事業への反映

- ・継続的な参加を促すためにエアロビクスなどの基本的なプログラムは 3 か月ごとに内容を更新して実施します。
- ・利用者の動向やアンケートの結果を見ながら、年度ごとに見直しを行います。
- ・新しいプログラムの導入は、イベントや短期教室の形で試験的に実施した結果をもとに判断します。

4 その他の自主事業

■ スポーツや運動への参加や継続を促すためのイベント開催

- ・子供の長期季節休暇に合わせた短期教室や野外教室を開催します。
- ・「ワンポイントスイムアドバイス」「スイムチャレンジ記録会」などを実施します。
- ・利用者の動向を見ながら、ビジネスパーソンをターゲットとした「マスターズスイム練習会」や「プレミアムフライデーマスターズ水泳大会」、50m プール全面を使った「アクアビクスファンイベント」などの開催を検討します。

■ 体育の日記念事業

- ・個人使用施設の無料開放や、有名アスリートと触れ合える機会の提供など、スポーツになじみのない人でも気軽に参加できるプログラムを多数展開し、都民のスポーツに対する理解や関心、意欲を高める「体育の日記念事業」をグループ一丸となって展開していきます。
- ・周辺地域と連携し、地域で作り上げる事業を実施することで、地域のシンボルとなり、スポーツ活動の拠点として継続的に利用される施設を目指します。

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

単位：千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画					
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
1	【ベビースイミング】サブプール1レーン 乳幼児に負担の少ない水中運動を行う機会を提供することにより、心身の発達を促す。同時に親子間のスキンシップを図る。 ＜参加対象：生後6ヶ月～4歳未満＞ ※その他費用は、保険料、備品什器購入費、広告費など(以下同様)	月6回 (週2コマ) 年12回	2,160		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
2	【こども水泳スクール】サブプール3レーン 子供を対象とした水泳教室 ＜参加対象：3歳～小・中学生＞ 月2回・月3回コース	月42回 (週15コマ) 年12回	26,880		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
3	【こども体育スクール】スタジオB全面 子供を対象とした体育教室 ＜参加対象：4歳～小・中学生＞	月18回 (週6コマ) 年12回	4,320		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
4	【ベビー・リトル体育スクール】スタジオB全面 子供を対象とした体育教室 ＜参加対象：1.5歳～4歳未満＞ 月2回・月3回コース	月5回 (週2コマ) 年12回	900		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
5	【キッズダンススクール】スタジオB全面 子供を対象にしたダンス教室 ＜参加対象：4歳～小・中学生＞	月6回 (週2コマ) 年12回	1,440		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			総合計	実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
				—	—	—			—	
						支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
				—	—	—			—	

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

単位：千円

◆ 内 容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
6	【キッズ空手スクール】スタジオB全面 子供を対象とした空手教室 ＜参加対象：3歳～小・中学生＞ ※その他費用は、保険料、備品什器購入費、広告費など(以下同様)	月4回 (週2コマ) 年12回	960		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
7	【キッズバレエスクール】スタジオB全面 子供を対象としたバレエ教室 ＜参加対象：3歳～小・中学生＞	月4回 (週2コマ) 年12回	960		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
8	【キッズ新体操スクール】スタジオB全面 子供を対象にした新体操教室 ＜参加対象：3歳～小・中学生＞	月6回 (週2コマ) 年12回	1,440		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
9	【キッズチアダンススクール】スタジオB全面 子供を対象にしたチアダンス教室 ＜参加対象：3歳～小・中学生＞	月6回 (週2コマ) 年12回	1,440		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
10	【こども水泳・体育・ダンス短期スクール】サブプール3面・スタジオ全面 夏休み・冬休み・春休みに子供を対象とした短期教室 ＜参加対象：3歳～小・中学生＞	5教室/1期 (1期3日間) 年3回	4,500		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			総合計	実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③
				—	—	—			—
				支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)		
				—	—	—			—

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

単位：千円

◆ 内 容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画					
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
11	【ステップZERO】スタジオB全面 成人初心者向けの有酸素運動。音楽に合わせてステップ台への昇降運動を繰り返すプログラム。3ヶ月間同じ音楽と動きで行う、初心者向け。 ＜参加対象：16歳以上男女＞ ※その他費用は、保険料、備品什器購入費、広告費など(以下同様)	月11回 (週4コマ) 年12回	3,960		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
12	【フィットZERO】スタジオA全面 初心者向けの有酸素運動です。簡単なエアロビクス・格闘動作、筋力トレーニングで心地よく全身をリフレッシュ。3ヶ月間同じ音楽と動きで行う。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月6回 (週2コマ) 年12回	1,800		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
13	【颯爽ベーシック(オリジナル転倒防止プログラム)】スタジオB全面 日常生活に必要な歩行能力とバランス能力の向上(転倒予防)を目指すプログラム。高齢者向け。 ＜参加対象：60歳以上優先受付＞	月6回 (週2コマ) 年12回	2,160		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
14	【颯爽いきいき脳体操(転倒予防プログラム+脳トレ)】スタジオB全面 簡単な有酸素運動と頭の体操を組み合わせたプログラム。 ＜参加対象：60歳以上優先受付＞	月3回 (週1回) 年12回	1,080		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
15	【颯爽ウォーク(オリジナル転倒予防プログラム)】スタジオA全面 歩くのが楽しくなるプログラム。歩くために必要な筋トレも行う。 ＜参加対象：60歳以上優先受付＞	月3回 (週1回) 年12回	900		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③		
					—	—	—	—	—	
			総合計	—	—	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
						—	—	—	—	

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

◆ 内 容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画					
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
16	【スムーズモーション】スタジオA全面 凝り固まった筋膜をほぐし、動きを良くするトレーニング。ケガや痛みを予防・改善したい人やよりアクティブに動きたい人向け。 ＜参加対象：16歳以上男女＞ 月2回・月3回のコース ※その他費用は、保険料、備品什器購入費、広告費など(以下同様)	月11回 (週4コマ) 年12回	3,300		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
17	【肩こり予防】スタジオB全面 肩こり予防・改善のための簡単な体操。特に普段、運動不足を感じている人向け。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月3回 (週1コマ) 年12回	1,080		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
18	【ひざ痛予防】スタジオB全面 日常生活におけるひざ関節の状況改善に関する基本的な知識習得と体幹・脚の筋力を強化する運動を行うプログラム。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月3回 (週1コマ) 年12回	1,080		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
19	【太極拳】スタジオB全面 中国に古くから伝わる健康法を習得するプログラム。緩やかで流れるように動くことで、正しい姿勢やからだの正しい使い方を身につけながら身体の調子を内側から整える。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月3回 (週1コマ) 年12回	1,080		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
20	【フラダンス入門】スタジオA全面 初心者にも始めやすい、フラダンスの入門編。優雅な動きが良い筋肉への刺激となるため、楽しみながら健康づくりができるプログラム。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月3回 (週1コマ) 年12回	900		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			総合計	実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
				—	—	—			—	
						支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
				—	—	—			—	

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

単位：千円

◆ 内 容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画					
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
21	【ズンバ】スタジオA全面 ラテンを始め世界中のダンス音楽を取り入れた、南米生まれのダンスエクササイズプログラム。 ＜参加対象：16歳以上男女＞ ※その他費用は、保険料、備品什器購入費、広告費など(以下同様)	月14回 (週5コマ) 年12回	4,200		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
22	【ファイトアタック】スタジオB全面 格闘技の動きやトレーニング法をサーキット形式で行うプログラム。スタンディングバッグやミットへ実際に打撃するので、カロリー消費やストレス解消につながる。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月3回 (週1コマ) 年12回	1,080		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
23	【ピラティス】スタジオA全面 100年の歴史を持つメソッドで、からだの奥にある筋肉(インナーマッスル)をしなやかに、丈夫になるように整えるプログラム。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月8回 (週3コマ) 年12回	2,400		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
24	【フィールヨガ】スタジオA全面 世界的に普及しているハタヨガをベースに、現代人向けにアレンジしたシンプルなヨガプログラム。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月16回 (週6コマ) 年12回	4,800		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
25	【パーソナルトレーニング(1レッスン30分)】スタジオA半面 個々のレベル、状態に合わせたオーダーメイドのレッスン。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月54回 (週18コマ) 年12回	648		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③		
					—	—	—	—	—	
			総合計	—	—	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
						—	—	—	—	—

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
26	【アクアダンス】サブプール3レーン 音楽に合わせて動きの組み合わせを楽しむアクアエクササイズ。脂肪燃焼、シェイプアップやストレス解消に効果的。 ＜参加対象：16歳以上男女＞ ※その他費用は、保険料、備品什器購入費、広告費など(以下同様)	月11回 (週4コマ) 年12回	3,960		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
27	【アクアウォーク&ジョグ】サブプール3レーン 水の中を様々な方法で歩いたり、走ったりするプログラム。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月8回 (週3コマ) 年12回	2,880		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
28	【ウキウキリラックス】サブプール3レーン 浮き具を使った水中でリラクゼーションメニュー。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月6回 (週2コマ) 年12回	1,440		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
29	【成人スイム】サブプール1レーン 初心者から4泳法マスターまで。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月11回 (週4コマ) 年12回	2,640		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
30	【飛込】ダイビングプール半面 初心者から競技参加者まで ＜参加対象：25m程度泳力のある小学生～成人男女＞	月6回 (週2コマ) 年12回	1,800		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
					—	—	—	—	—
● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			—	—	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
					—	—	—	—	

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
31	【パーソナルスイム(1レッスン30分)】サブプール1/2レーン 個々のレベル、状態に合わせたオーダーメイドのレッスン。 ＜参加対象：小学生以上男女＞ ※その他費用は、保険料、備品什器購入費、広告費など(以下同様)	月54回 (週18コマ) 年12回	648		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
32	【こどもスポーツスクール 関連グッズ販売】 子供を対象とした教室で必要な物品の販売。 ＜参加対象：3歳～小・中学生＞	—	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
33	【アウトドアスクール】 サマーキャンプ、スノーキャンプ。集団生活を通じて、自然体験、社会体験、生活体験を学ぶプログラム。 ＜参加対象：3歳～小・中学生＞	4日間/1回 年2回	320		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
34	【ダイビングスクール】ダイビングプール半面 海で潜るためのライセンス取得に向けて、陸上での講習会6時間とプール実習9時間を実施(ライセンス取得には、別途海洋実習が必要)。 ※その他費用は、教材費とエアボンベなどの機材費	5日間/1回 年1回	50		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
35	【お子様お預かり】会議室1 火曜日と木曜日10時～14時に託児できる体制を整備。	月6回 年12回	720		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
					—	—	—	—	—
			—	—	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
					—	—	—	—	

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

◆ 内 容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
36	【けん玉エクササイズ(フリープログラム15分)】トレーニングルーム けん玉を使って楽しみながら、足腰の筋力を強化するプログラム。 ＜参加対象：けん玉のできる人＞	月3回 年12回	180		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
37	【プチトレ(フリープログラム10分)】トレーニングルーム 日常生活の中でできる簡単なストレッチやトレーニングルームにある小道具を使った手軽なトレーニングをご紹介しますプログラム。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月70回 (週25コマ) 年12回	4,200		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
38	【水中ウォーキング(フリープログラム15分)】 水の中を様々な方法で歩くプログラム。全身のリラックス、脂肪燃焼や柔軟性の向上に効果的。高齢者向け。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月42回 (週15コマ) 年12回	5,040		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
39	【コアヒーリング(フリープログラム15分)】トレーニングルーム 円柱形のボールを使用して体幹部(コア)の緊張を取り除き、本来の自然な状態にリセットするプログラム。高齢者向け。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月14回 (週5コマ) 年12回	840		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
40	【ラジオ体操第一(フリープログラム10分)】トレーニングルーム・プール 朝の準備運動としてトレーニングルーム・プールで毎日様々な言語バージョンで流し、指導スタッフ全員で実施。 ＜参加対象：ラジオ体操ができる人どなたでも＞	月14回 (週5コマ) 年12回	840		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
			—	—	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
			—	—	—			—	

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
41	【Laフットキュア(フリープログラム15分)】トレーニングルーム 足裏やリンパを刺激して血行や老廃物の排出の促進や、小さな揺らぎでカラダを自然な状態にリセットするプログラム。高齢者向け。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月14回 (週5コマ) 年12回	840		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
42	【バランスボール(フリープログラム15分)】トレーニングルーム バランスボールを使って、コア(体幹部)のバランスを整えるプログラム。 ＜参加対象：16歳以上男女＞	月14回 (週5コマ) 年12回	840		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
43	【ラジオ体操第2(フリープログラム10分)】トレーニングルーム・プール 日中15時頃に館内で音楽を流します。手の空いている指導スタッフが参加。 ＜参加対象：ラジオ体操のできる人どなたでも＞	月14回 (週5コマ) 年12回	840		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
44	【ビューティープロジェクト(フリープログラム)】トレーニングルーム 女性向けのプログラム。毎日違うメニューで実施。週5回の日替わりメニュー。 ＜参加対象：16歳以上女性＞	月42回 (週15コマ) 年12回	2,520		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
45	【ハッピーファミリーデー(プールフリープログラム)】 家族連れ利用者を対象に、プールでのレクリエーションやゲーム等に参加いただき、楽しく過ごしていただく企画(一般利用料のみで参加可能)。月1回不定期で実施。プール1/4面を使用。	月1回 年12回	360		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
					—			—	
			総合計	—	—	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)
						—			—

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
46	【体育の日記念事業】 体育の日において都民の間に広くスポーツについての理解と関心を深め、かつ積極的にスポーツをする意欲を高揚するような事業を実施する。併せて、個人利用については無料開放を行う。	10月 1回	1,500		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
47	【元旦「初泳ぎ」】 1月1日午前10時から午後4時まで臨時開館し、すべてのプールを無料開放するとともに、当日先着1,000名にオリジナルグッズを提供する。	1月1日 1回	2,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
48					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
49					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
50					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
					5,679	63,852	支出総合計②(①を含む。)		

1 事業の提供

(3) 周辺連携事業

多彩で魅力的なプログラムを展開し、にぎわいの創出やレガシーの醸成を図ります

- 「新規恒久施設の施設運営計画」を重視した事業を展開します。
- 近隣の公園や商業施設はもとより、臨海スポーツゾーン施設も視野に入れた連携を進めます。
- スポーツ振興や地域貢献を通じたにぎわいの創出、レガシーの醸成を図ります。

1 周辺連携事業の展開

- ・当グループでは、辰巳の森海浜公園、夢の島公園等の近隣施設と連携し、さらには、臨海スポーツゾーン全体にも目を向け、他エリアの施設と連携することで、**面的に広がりのあるレガシーの醸成**に向けて取り組みます。
- ・計画作成に当たっては、「**新規恒久施設の施設運営計画**」を重視しました。同計画では「周辺施設等との連携」として、右図の視点が示されており、それら**4つの視点や「都市づくりのグランドデザイン」などを踏まえ**ながら、多様なプログラムを展開し、にぎわいの創出やレガシーの醸成、スポーツが盛んに行われる環境づくりを進めます。
- ・さらに、周辺連携の概念を幅広くとらえ、地元団体や関係機関と連携することにより、**地域社会への貢献**にも取り組みます。
- ・なお、隣接する辰巳については、利用用途が未定のため、具体的な連携内容には触れていませんが、**当グループは辰巳を管理**していることから、どのような利用用途になっても、**緊密な連携が可能**です。施設用途が決定しだい、東京都と協議しながら、連携事業を拡充します。
- ・以上の考えに基づき、連携先との十分な協議を踏まえたうえで、以下の**5つの視点**により各種事業を展開していきます。



図-4つの視点を踏まえ、本施設を中心に広がりのあるレガシーを醸成

2 視点① 「にぎわいの創出」

- ・周辺の施設や大手広告代理店等と連携した**スポーツイベント等を開催**することにより、**にぎわいの創出**はもとより、スポーツ実施率の向上など**スポーツ振興にも寄与**します。
- ・例えば、ニュースポーツ向けの施設を数多く持つ辰巳の森海浜公園の特性を生かし、誰もが気軽に楽しめる**ニュースポーツのイベント**を本施設と共同で開催します。
- ・それにより、ニュースポーツの新たな名所としての認知度を高め、将来にわたり**にぎわい**をもたらすとともに、スポーツ非実践層への訴求を図っていきます。
- ・当グループは**(一社)東京都レクリエーション協会**や**(公財)日本水泳連盟**から**関心表明書**をいただいております、実施に当たって協力をいただく予定です。
- ・そのほか、スポーツ実施率が低いと言われる若い女性に人気の**ヨガのイベント**、SNSを活用し、臨海スポーツゾーン全体の認知度向上も図る**フォトラリー**、小中学生がスイム・ランを競い合う**アクアスロン大会**などを実施します。
- ・また、東京 2020 大会の興奮と感動が繰り広げられた臨海スポーツゾーン内の各施設を回る**見学ツアー**や**大会観戦事業**を行います。それにより、東京 2020 大会がもたらすレガシーを肌で感じる機会を創出します。



図-代表団体 A 実施のニュースポーツイベント

1 事業の提供

3 視点② 「施設及び公園の相互利用促進」

- ・各施設の特性を生かした**相互利用**を促進することで、さらなるにぎわいの創出を図ります。
- ・辰巳の森海浜公園には、ドッグランやバーベキュー広場といったレジャー施設が備わっており、多くの方に利用されています。本施設においてもそうした利用者向けの展示会や物販、体験教室、ペット同伴が可能な飲食スペースの提供などを行うことにより、**両施設の相乗効果を高め、施設周辺のラグビー練習場や少年広場等のにぎわい**を生み出します。
- ・また、個人利用施設を開放している際は、**公園利用者や周辺のランナー等に対してもシャワーや更衣室**をご利用いただけるようにするなど、本施設と公園が一体となって相互利用や利便性の向上を図り、地域に愛されるスポーツ拠点を目指します。
- ・さらに、**近隣的大型商業施設と連携が図れるよう、相互で利用できる割引制度の設定**などについて働きかけを行います。

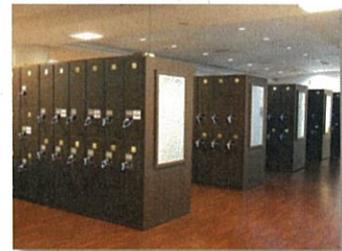


図-ランニングステーションとしても利用できる更衣室(東京体育館)

4 視点③ 「利用しやすさのための改善」

- ・本施設や隣接する辰巳の森海浜公園について、関係機関と連携を深めながら、アクセスや利便性の向上を図ります。
- ・と連携し、**シェアサイクルのサイクルポート(駐輪場)**を施設内に設置します。臨海部全体の周遊性を高めるとともに、本施設や周辺施設へのアクセス向上を図り、本施設や公園の利用者増加、にぎわいの創出につなげます。
- ・また、**鉄道事業者、道路管理者及び公園管理者**等公的事業者に働きかけ、最寄駅からの案内サインのあり方や夜間でも安心して利用できる環境づくりなどについて協議する**連絡会議**を立ち上げて、利用者や住民の目線に立った利便性向上について連携を図ります。

5 視点④ 「公園機能の拡充」

- ・本施設は辰巳の森海浜公園に隣接しており、平常時や防災時の安全性を一体的に高めていくことは、利用者だけでなく周辺地域の利益につながるものと考えます。
- ・そこで、**日常的な夜間警備**などで近隣公園と連携・協力を図るとともに、地元警察・消防とともに公園と**合同の防災訓練**を行うことにより、本施設と公園双方が協力しあい、互いの防災機能を高め、災害時における地域の安全を確保します。



図-防災訓練の実施(東京体育館)

6 視点⑤ 「地域への貢献」

- ・本施設が新規恒久施設として末永く都民に親しまれ続けるためには、まずはその基盤となる地元地域に愛される施設でありたいと考えます。
- ・そこで、周辺の様々な機関と連携し、地域社会に貢献していくことで、本施設の存在価値を高め、さらなるにぎわいや地域活力の創出を図ります。
- ・地元の**教育機関と連携した作品展の展示やインターンシップの受入れ**、さらには、施設の**アウトリーチ活動**として、**地域清掃を兼ねたウォーキングイベント**を行います。



図-周辺施設のゴミ回収・清掃(構成団体B実績)

単位：千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画						
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
1	【フォトラリー】 臨海エリア全般に複数の拠点を設定し、徒歩もしくは自転車により、拠点を回り、撮影しながら点数を競うラリーを開催。SNSへの投稿を推奨することで、運動機会の創出だけでなく、当エリアの社会的認知を拡大	年1回	50人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※			
2	【地域学生交流事業】 周辺の大学や専門学校と連携し、課外活動やゼミ活動などの一環でイベント事業のサポートを担ってもらう事業を実施。学校の特性に応じて、子供とのふれあいや現場対応など、イベント運営に携わってもらう。	年2回	20人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※			
3	【健康運動教室】 地域の高齢者等を対象に、近隣公園内のウォーキングやアクアティクスセンター内プールでの水中ウォーキング教室を開催。健康づくりに寄与するとともに、プールの魅力を知ってもらい利用率向上を図る。	年3回	90人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※			
4	【ファミリー層を対象としたキャンプ講座】 都レクリエーション協会及び 並びに辰巳の森海浜公園と連携し、周辺のバーベキュー広場の利用者をはじめ、ファミリー層を対象としたキャンプ講座やアクティビティ、体験等を実施し、賑わいを創出する。（ が参加料を収入し、講師料・材料費等を負担）	年1回	300人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※			
5	【ドッグラン利用者向け展示会等の実施】 施設の近隣公園のドッグラン利用者をはじめとする、周辺地域の愛犬家をターゲットに、施設3階エントランス前広場や周辺において、キッチンカーやドッグカフェ等の飲食スペースを設置し、犬関連商品のマーケット等も開催し賑わいを創出する。（飲食店舗の売上の一部を収入）	年2回	1,000人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※			
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※（参考）自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			総合計		繰入額①			収入総合計③			
					実施回数	参加人数	—			—	
					支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)			
					—			—			

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
6	【ランニングステーション】 公園利用者や周辺地域のランナー・ウォーカーに対して、個人利用施設の更衣室等をご利用いただけるようにし、公園と当施設が地域のスポーツ拠点として定着することを目指していく。(収支については管理運営費の一部として計上)	通年	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
7	【周辺公園や他施設の案内展示】 近隣公園や臨海部に位置する東京2020大会会場となった施設の概要や魅力を紹介するパネル展示、デジタルサイネージによる放映等を実施する。	通年	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
8	【シェアサイクルの運用】(再掲) と連携し、サイクルポートを施設内に設け利用者の利便性向上を図る。新たなポートを本施設に設置することで、周辺施設と一体となり地域の活性化に努める。(利用者に対するサービス提供事業の再掲のため、収支については本計画では未計上)	通年	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
9	【合同防災訓練等による安全性の向上】 当グループが管理する辰巳と連携した周辺警備を実施するなど、施設周辺の日常的な安全性を高めるとともに、辰巳の森海浜公園や夢の島公園、地元警察、地元消防とともに合同で防災訓練を行い、災害時の地域の安全性を高めていく。	年1回	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
10	【地域クリーンウォーキング】 近隣公園を含めた周辺地域において、清掃活動を行いながら、ウォーキングを行うイベントを実施。スポーツを行いながら、地域の美化にも貢献し、賑わいを創出していく。	年2回	200人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
					—			—	
					支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)	
					—			—	

単位：千円

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画					
			定員 観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
11	【地元教育団体の職場体験・インターンの受入】 地元の教育団体の職場体験やインターンを計画的に受け入れ、地域の教育活動に協力する。	随時	—							
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
12	【地元中学校・小学校・特別支援学校・幼稚園・保育園等の作品展】 地元の義務教育以下の教育機関等の絵画や書道のコンクール入賞作品を展示することにより、地元の教育活動や文化振興に寄与する。	通年	—							
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※		
13										
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
14										
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
15										
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※（参考）自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③		
					12	1,411	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)
<b>総合計</b>										

◆ 内 容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり	
			定員 観客数	参加料/人 入場料
1	【ニュースポーツイベント】 辰巳の森海浜公園はニュースポーツで有名な公園であり、当施設や夢の島公園においてもニュースポーツ(アクアゲーム等)を実践することで、辰巳・夢の島エリアをニュースポーツの発信拠点としてレガシー形成に貢献していく。	年1回	30,000人	
			—	
2	【アクアティクスセンター アクアスロン大会】 小・中学生を対象に、辰巳の森海浜公園の走路とアクアティクスセンターのプールを活用し、ランとスイムによる大会を実施する。小学生低学年、高学年、中学生別に距離を設定し、上位入賞者にカップを授与する。小・中学生の総合的な体力向上とアクアスロンの普及に寄与するとともに近隣施設の有効利用に資する。	年1回	150人	
			300人	
3	【ヨガフェスタ】 都民の憩いの場として公園と一体となった賑わいを創出するため、また、スポーツ実施率向上のため、特に若年女性に人気の高いヨガに関するイベントを実施。例えば、国際ヨガデーにあわせて、当施設と辰巳の森海浜公園において開催する。当施設では水上で行うサブヨガ、辰巳の森海浜公園では様々なヨガ体験を実施する。	年1回	3,000人	
			—	
4	【東京2020大会施設見学ツアー】 臨海スポーツゾーンにおいて、東京2020大会の興奮と感動が繰り広げられた各施設を回り、内部の見学や大会運営秘話などを聞く機会を提供し、レガシーの醸成に寄与していく。	年1回	100人	
			—	
5	【東京2020大会施設における観戦事業】 臨海スポーツゾーンにおいて、東京2020大会の会場となった施設で開催される大会を観戦することにより、レガシーの醸成や「みるスポーツ」の普及に寄与していく。	年3回	150人	
			—	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> </ul>		実施回数	参加人数	
		総合計	—	—

◆ 内 容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり	
			定員 観客数	参加料/人 入場料
6	【東京2020大会競技体験事業】 当施設はもとより、近隣公園内の各施設や水上レクリエーション空間を活用し、水泳、カヌー、ボート、陸上、ラグビーなどのオリンピック・パラリンピック種目5種目程度の体験ができる事業を実施し、「マルチスポーツエリア」全体の盛り上げを図る。	各種目 年1回	各種目50人	
			—	
7	【辰巳の森・夢の島のスポーツ施設を巡るスタンプラリー】 デジタル版のスタンプラリーとして、スマートフォンのGPS機能と連動したダウンロード無料アプリを活用し、マルチスポーツエリア内のスポーツ施設を巡るスタンプラリーイベントを実施する。2日間で全てのスタンプを集めた方にはアクアティクスセンターにおいて、各施設の利用割引券等の記念品を渡す。各施設の認知度向上だけでなく、自転車、徒歩、いずれの手段を利用した場合でも相当の移動距離となることから、運動機会の創出にも繋がる。	年2回 (開催は週末の2日間)	2,000人	
			—	
8	【競技力向上事業】 代表団体Aは東京都と連携しながら、競技力向上事業を実施しており、管理している指定管理施設においても左記事業に協力するなど、豊富な経験を有している。当施設をはじめ、辰巳の森海浜公園や夢の島公園に整備されている競技場等を有効に活用し、水泳以外の種目も含め、競技力向上に資する事業を展開し、マルチスポーツエリアを競技力向上拠点として発信していく。	通年	—	
			—	
9	【商業施設と連携した割引制度】 近隣の宿泊施設や大型商業施設等と連携し、共通の割引制度を設けるなど、相互利用を促進する。	通年	—	
			—	
10	【ラグビー練習場と連携した相互利用の促進】 週末に辰巳の森海浜公園のラグビー練習場を利用した団体を対象として、隣接するアクアティクスセンターの利用割引を行い、施設の相互利用を促進する。	夏季(7～9月)の 毎週末	—	
			—	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> </ul>		実施回数	参加人数	
		—	—	
<b>総合計</b>				

提案課題3-1(3)別表② 周辺連携事業（構想段階の事業）の事業実施計画[平成33～34年度（2021～2022年度）]

（平成33・34年度）

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり	
			定員 観客数	参加料/人 入場料
11	【鉄道事業者、道路管理者、公園管理者等との連絡会議】 最寄り駅からの分かりやすい案内表示など、周辺地域の利便性向上・安全性向上に向けた協議を行う会議体を設置する。	年4回	—	
			—	
12				
13				
14				
15				
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。		実施回数	参加人数	
		18	30,303人	

総合計

提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

1 事業の提供

(4) 利用者に対するサービス提供事業

カスタマーエクスペリエンスを最大化するための良質な施設サービスを提供します

- 蓄積された利用者ニーズに応えるサービスを提供します。
- 多彩な交通手段を提供し、気軽に利用できる施設とします。
- 利用者の安心・安全に配慮した環境づくりを展開し、満足度の向上を図ります。

1 快適にご利用いただく施設内サービス業務

■ きめ細かなサービスの提供

・魅力あるサービスを提供することで、顧客経験価値を向上させます。

対象	項目	サービス内容
する人	シェアサイクル	・ポートを設置 と連携し、シェアサイクルのサイクル
	自転車・バイク駐輪場	・個人利用者向けに、駐輪場を無料で開放
	シャトルバス	・個人利用者向けに、本施設と駅との間で無料送迎バスを運用
	ショップ	・個人利用者向けに、スイム・トレーニング用品の販売・レンタルを実施
する人 観る人	売店	・周辺施設利用者も利用できるコンビニタイプの売店を導入
	駐車場	・貸切については、大規模大会用に全面貸切、小規模大会用に部分貸切の2パターンで運用。車椅子スペース・思いやりスペースを各5台計10台設け、貸切の有無に関わらず常時無料開放
	自動販売機	・ユニバーサルデザイン・災害支援型自動販売機の導入
観る人	ロッカー	・大規模用・小規模用の2種類を4台42口設置
	エントランスの貸出	・大会での利用日以外については、企業の展示ブースとして施設提供を行う
その他	撮影	・営利目的での写真や動画撮影に可能な範囲で協力し、同時に施設PRも行う

表-利用者サービス業務一覧

■ シェアサイクルポートの設置

・施設内にサイクルポート（駐輪場）を整備し、辰巳駅をはじめとする江東区内75ヶ所のサイクルポートと連携しながら、公園利用者の普及・利用者の運動習慣の定着、スポーツ実施率の向上を図ります。また、最寄駅から施設までの時間短縮・負担軽減を叶えます。



2 エントランスの活用

- ・スポーツを「みる人」・「する人」全ての利用者のコミュニティ形成の場、また、アフタースポーツの憩いの場としてエントランスを開放します。子供連れや高齢者の利用にも配慮し各エントランス周辺に椅子や机を設置し、誰もが過ごしやすい空間を提供します。
- ・自動販売機、コインロッカー等を整備するとともに、館内に観葉植物を配置することで、より快適な環境を創出します。
- ・3階エントランスに関しては、大会時のみの開放となることが予想されるため、利用の無い日については、地域のイベントや企業の展示会などにも貸出します。



図-本施設エントランス等の活用提案

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題3-1(4)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
1	【シェアサイクルの運用】 と連携し、サイクルポートを施設内に設け利用者の交通手段における利便性向上を図る。新たなポートを本施設に設置することで、周辺施設と一体となり地域の活性化に努める。		支出	収入
2	【シャトルバスの運用】 本施設と周辺駅との間で無料送迎バスを運行し、施設利用者の利便性向上と利用促進に貢献する。また、辰巳と連携し相乗効果を図る。		支出	収入
3	【エントランスの貸出し(3階・屋外)】 大会利用のない日は、地域イベントや企業の展示会場として、施設を貸出す。		支出	収入
4	【売店の運営(2階エントランスラウンジ)】 辰巳駅及び施設周辺に、飲食物の購入場所が僅少であるため、公園利用者を含む来場者向けにコンビニ形式の店舗を導入。		支出	収入
5	【施設内における撮影】 施設内における雑誌の写真撮影やテレビなどの動画撮影については、本施設の知名度を上げる広告活動にも繋がるため大会に支障が出ない範囲で協力する。		支出	収入
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述してください。</li> <li>● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述してください。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに記述してください。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2) その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			繰入額①	収入合計③
			支出合計② (①を含む。)	差引④(③-②)

提案課題3-1(4)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33・34年度)

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
6	<b>【駐車場の運営】</b> 利用者の利便性向上を目的に、駐車場を運営する。原則8時から23時、料金は 〃 〃とする。その他、個人利用者割引の実施や、競技団体による貸切利用に対応する。		支出	収入
7	<b>【バイク駐輪場の運営】</b> 利用者の利便性向上を目的に、駐車場を運営する。駐車場と同様8:00~23:00まで営業し、料金は 〃 〃とする。個人利用者を対象に割引制度を導入し、 〃 〃とする。		支出	収入
8	<b>【自転車駐輪場の整備】</b> 近隣住民や施設周辺の学生向けに、駐輪場を確保する。駐輪機器については、設置せず無料で駐輪出来るスペースのみ提供する。		支出	収入
9	<b>【荷物預かり用ロッカーの設置】</b> 大規模大会時には、地方や海外からの観客が多いと見込み、大型・小型ロッカーを各2種用意し、快適なスポーツ観戦環境を整備する。		支出	収入
10	<b>【自動販売機の設置】</b> スポーツを「する人」だけでなく「観る人」にも配慮した自動販売機を屋内外に約33台設置する。飲料や栄養食品、軽食等を販売するとともに、ユニバーサルデザインや災害支援対策自販機を導入。		支出	収入
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述してください。</li> <li>● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述してください。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに記述してください。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2) その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			繰入額①	収入合計③
			支出合計② (①を含む。)	差引④(③-②)

提案課題3-1(4)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[平成33~34年度(2021~2022年度)]

(平成33年度)

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
11	<b>【スポーツ用品の販売】</b> 水着やトレーニングウェアなどのスポーツ用衣料品、ゴーグル、スイムキャップ、靴下などのスポーツ雑貨類、その他関連する用品等の展示販売。イベント販売やオフシーズンバーゲンも企画し、利用者ニーズに応える。		支出	収入
12	<b>【レンタル品の貸出】</b> タオルやトレーニングウェア・シューズ、スイムキャップ、ゴーグルなどを用意し、忘れ物や手ぶらで来館した場合でも利用が可能となるよう、レンタル品を提供する。		支出	収入
13			支出	収入
14			支出	収入
15			支出	収入
			繰入額①	収入合計③
			支出合計② (①を含む。)	差引④(③-②)

- 利用者サービス事業の具体的な提案を記述してください。
- 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述してください。
- 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに記述してください。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2) その他(G)」と金額が一致すること。

2 施設の事業を支える仕組み

(1) 広報

「水泳の聖地」としての魅力を活率的・効果的な広報活動でアピールします

- 各種媒体を活用して幅広く広報活動に取り組み、施設の魅力を積極的に発信します。
- 公共施設として求められる基準に準拠したホームページ等を構築します。
- 利用者が自由に情報収集できるスポーツ情報コーナーを設置します。

1 都立スポーツ施設として広域性・公共性を意識した広報活動の展開

■ 効率的、効果的な PR 発信

- ・ メールマガジン、Facebook、Twitter や代表団体 A の広報誌「スマイルスポーツ」を活用し、施設、イベント、各種事業の PR とともに、東京 2020 大会の気運醸成に寄与します。
- ・ デジタルサイネージ（電子看板）等を活用し、本施設の貸出状況やスポーツ振興の PR、周辺地域のイベント等多彩な情報をタイムリーに発信します。
- ・ 大手広告代理店等と連携し、東京 2020 大会会場としての本施設の魅力を発信していきます。

■ 施設利用ガイド作成による情報ツールの提供

- ・ 本施設の概要や利用状況等をわかりやすくまとめた要覧を毎年度発行し、各関係行政機関等に配布します。
- ・ 本施設の様々な施設・設備の利用方法について、わかりやすくまとめた施設利用ガイドを作成し、利用者に配布します。
- ・ 東京 2020 大会に向けて、大会関係者や海外メディアなどの視察時の説明資料として、英文リーフレットを作成します。

■ あらゆるユーザー利用を想定したホームページ等の作成・更新

- ・ 本施設専用のホームページやスマートフォンサイトを作成し、利用者が必要とする情報を容易に取得できるよう構築し、魅力的な情報を発信します。
- ・ 施設の概要や事業、利用案内、休館日など基本的な情報を確実に掲載するとともに、突発的な情報を迅速に発信するため、サイト管理システムを構築し、現場の職員それぞれが速やかに更新できる体制を整えます。
- ・ 代表団体 A が運営する外部サイト (<http://smilesports.jp/>) 等を活用し、イベントや体験、講習会等スポーツ振興事業の積極的な周知を図るとともに、日中は専用の電話窓口を設置するほか 24 時間いつでも利用申込みができる体制を整えます。
- ・ 誰もが見やすいホームページとするため、ウェブアクセシビリティの向上を図り、JIS 規格の適合レベル AA に準拠するだけでなく、適合レベル AAA の追加達成を目指します。



図-代表団体 A が運営するサイト

■ 東京都や組織委員会の広報活動への協力

- ・ 東京都が行う広報活動は、本施設及び本施設が実施する事業を PR するための大きなチャンスととらえ、チラシの送付やプレス記事の作成、現地取材等に対して、全面的に協力します。
- ・ 東京 2020 大会の競技会場として、東京都や組織委員会と連携し、開催気運の醸成に向けた広報活動に対して柔軟に対応します。

■ スポーツ情報コーナーの設置

- ・ 利用者に対しスポーツ関連資料等を提供するため、体育、スポーツ、健康づくり及び東京 2020 大会等に関する書籍・雑誌、新聞、専門書等を、自由に閲覧ができるスペースを設置します。また、利用者からの専門的な問い合わせに対しては、職員が適切にわかりやすく対応します。



図-スポーツ情報コーナーの実例 (東京体育館)

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

業務ごとにライン化した組織体制により効率的・効果的な施設運営を行います

- 館長をトップとし、業務ごとにライン化した簡明な組織体制とします。
- グループ各団体の特長を生かし、経験と専門性を備えた人員を配置します。
- 大規模大会や緊急・災害時には、グループ各団体のバックアップ体制により柔軟に対応します。
- 東京 2020 大会に向け、東京都や組織委員会、関係機関との連絡・調整・報告体制を構築・強化します。
- 東京辰巳国際水泳場で培ったノウハウやネットワークを生かし、効果的な運営を行います。

1 組織運営体制

■ 業務ごとにライン化した簡明な組織体制

- ・施設の総括責任者である館長をトップに、業務ごとにライン化した簡明な組織体制とします。
- ・グループ各団体は、それぞれ大規模スポーツ施設等管理運営の実績を有しており、団体の特長を生かした体制とします。
- ・業務ごとに責任者を配置し、関連業務をまとめた部門を設置します。また各部門にも責任者を配置するとともに、組織内での役割分担を明確化し、確実かつ効率的に業務を遂行します。
- ・各ラインには、グループ各団体の人的資源を活用し、業務内容に応じて経験・知識・技能を有するスタッフを配置します。
- ・各ラインやグループ内の連携体制、委託事業者に対する管理体制等を整えることで、業務のすき間をなくし、効果的な施設運営を行います。
- ・東京 2020 大会に向けた東京都や組織委員会、関連機関等との連絡・調整・報告に万全な体制を整備します。
- ・大規模大会開催や緊急・災害時には、グループ各団体からのバックアップ体制を構築し、柔軟な人員体制を整え、不測の事態に備えます。
- ・当グループは隣接する辰巳の管理を行っているため、引渡し前の準備期間においてもグループ内の連携や関係機関とのネットワークを通じ、東京 2020 大会後の運営に向けた準備業務を効率的に実施します。

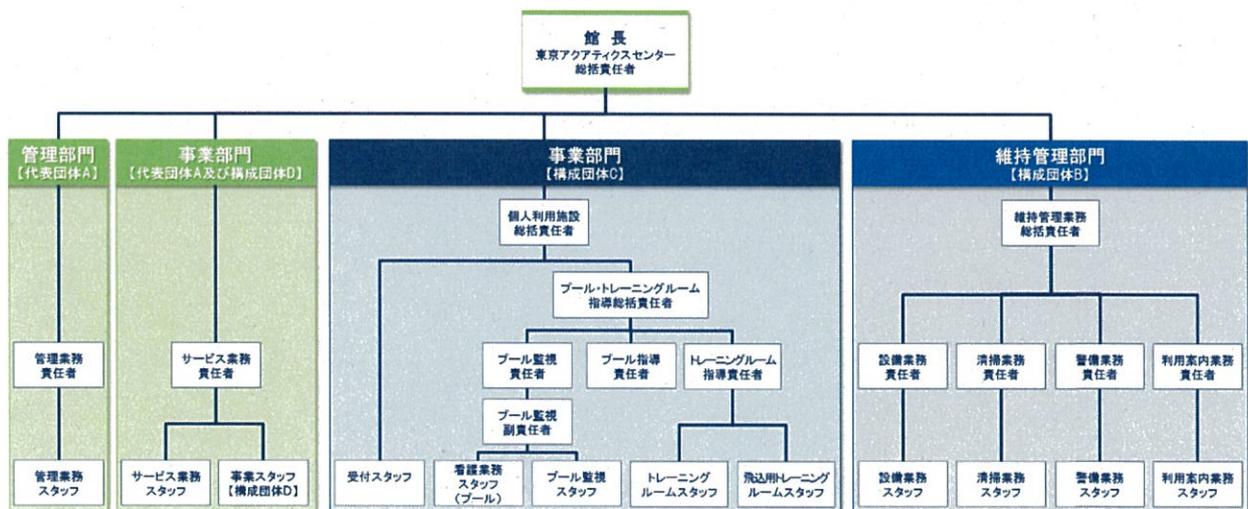


図-東京アクアティクスセンター 管理運営の組織体制図  
※ 各部門の人員数は別表に記載しています

2 各部門の人員配置

■ 適切な人員配置

- ・これまでの管理運営実績を生かし、利用者数予測を踏まえた、管理運営・安全確保に必要な人数を配置します。
- ・大規模大会等の開催時は、本施設のスタッフに加え、グループ各団体からの応援体制を構築し、大会運営をサポートします。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

## 提案課題 4 [組織及び人材] 1 効果的かつ効率的な組織体制の確保

### ■ 配置する人員

- ・「業務内容及び管理運営の基準」に基づく**資格要件を満たしたスタッフを適切に配置**するとともに、上位資格の取得など、さらに層の厚い組織とするための支援を行い、運営の品質を高めます。
- ・東京体育館や辰巳等の大規模スポーツ施設を管理しており、大型イベントも含めた施設運営業務、スポーツ普及振興に係る業務、レクリエーション事業実施業務、施設の維持管理業務等、各業務に現に従事していることから、**知識・技能を備えた人材を当初から投入**し、円滑な開業準備及び運営を行います。

## 3 情報伝達がスムーズな組織体制

### ■ スタッフ間の円滑なコミュニケーションを促進する組織体制

- ・業務ごとに定期的な打合せを行い、スタッフ間のコミュニケーションを促進します。
- ・管理運営状況についての共通認識を図るほか、課題や要望・苦情については、**実務担当者会議**にて対応経過等を共有するなど、施設運営の改善につなげていきます。

### ■ 報告・連絡・相談の6つの視点

- ・情報伝達をスムーズに行い、コミュニケーションのとれた職場環境を維持するため、6つの視点を基本としたスタッフ教育を、OJTを中心に行っていきます。

#### 報告・連絡・相談の6つの視点

- ① 問題点を明確にする
- ② 緊急性を判断する
- ③ 直接「報告・連絡・相談」する
- ④ 要点を簡潔にまとめる
- ⑤ 相手の立場を尊重する
- ⑥ 問題や相談者をフォローする

## 4 グループ内の責任分担と連携体制の確保

### ■ 会議を通じた情報共有

- ・代表団体 A を中心とした組織体制により、各団体が責任を持って担当業務を遂行します。
- ・代表団体 A は、東京都との連絡調整及び構成団体内の連絡調整を行うとともに、施設運営全般を総括します。
- ・日常業務は、各構成団体の責任のもとに行いますが、「**実務担当者会議**」や「**コンソーシアム運営委員会**」を通じて、構成団体間のコミュニケーションを図り、各スタッフがお互いの業務内容を理解したうえで、日々の運営に取り組んでいきます。

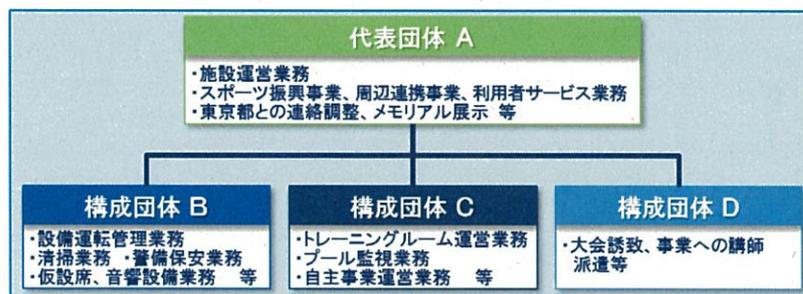


図-グループ構成団体の主管業務

## 5 東京都への連絡・調整・報告体制の確立

### ■ 連絡窓口を一本化

- ・東京都との**連絡窓口を一本化**し、各種調査及び緊急時の報告等を管理業務責任者が担います。

### ■ 東京都への連絡・調整・報告体制

- ・代表団体 A は東京 2020 大会の競技会場となる施設を管理運営している実績を生かし、東京都や組織委員会をはじめとする様々な関係機関等からの視察や打合せなどに的確に対応するために**専任の担当者**を配置し、関係機関等と迅速かつ確実に連携が取れる体制を整えます。

提案課題 4-1 効果的かつ効率的な組織体制の確保 別表

◆各部門の所要人員

役 職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1 週間の 勤務時間
			常勤	非常勤	委託	
館長						
管理業務責任者						
管理業務担当者						
サービス業務責任者						
サービス業務担当者						
事業担当者						
個人利用施設 総括責任者						
施設配置人員 プール・ トレーニングルーム 指導総括責任者						
	トレーニングルーム 指導責任者					
	プール指導責任者					
受付従事者						
トレーニングルーム 従事者						
維持管理業務 総括責任者						
設備業務責任者						
設備業務副責任者						
設備業務従事者						
警備業務責任者						
警備業務副責任者						

役職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1週間の 勤務時間
			常勤	非常勤	委託	
施設配置人員	警備業務従事者					
	警備業務従事者					
	利用案内業務責任者					
	利用案内業務従事者					
業務委託	プール監視責任者					
	プール副責任者					
	プール監視スタッフ					
	看護業務員					
	清掃業務責任者					
	清掃業務従事者					

※各職の資格の詳細は、提案課題2-4（プール）、2-1（トレーニングルーム）に記載しています。

●記入上の注意

- 職員一人ごとに記入してください。
- 「役職」については、体育施設を管理運営する上で必要と思われる役職（館長、警備員等）を記入してください。
- 「能力・資格・実務経験年数等」は、実際に配置する予定職員を想定の上、記入してください。
- 「雇用形態」については、該当に○を記入してください。
  - ・「常勤」職員は、週40時間程度勤務し、貴団体が複数年にわたり雇用する職員とします。
  - ・「その他」の場合は、具体的に雇用形態を記入してください。
- 貴団体の本社等に本施設の管理にかかわる人員を配置する場合は、「施設配置人員」欄の下部を利用して記入してください。その場合は、「備考」欄にその旨を記載し、「1週間の勤務時間」は、本施設にかかわる時間のみを想定し記入してください。
- 「業務委託」欄には、警備・受付等の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる場合に記入してください。

提案課題 4 [組織及び人材] 2 明確な責任体制の構築

館長を中心とした明確な責任体制を構築します

- 業務全般の統括責任者である館長以下、業務ごとにライン化した体制とします。
- 業務権限と責任の範囲を明確化し、適切な業務執行と危機管理を徹底します。

1 責任者の役割

- ・施設の業務全般を統括する責任者として、館長を配置します。
- ・館長のもと**業務ごとにライン化**し、それぞれの総括責任者が、業務の進行管理、スタッフへの指示、各部門間の調整等を行います。

	役職名	主管	主な業務内容
管理・事業部門	館長・本施設総括責任者	代表団体 A	・本施設業務全般の責任者
	管理業務責任者		・管理運営業務の責任者 ・東京都、関係機関との連絡調整総括 ・グループ構成団体間の調整業務総括 ・管理業務担当者への業務指示、指揮監督
	サービス業務責任者		・施設及び付帯設備の使用承認の責任者 ・利用団体との連絡調整総括 ・スポーツ振興事業、自主事業及び周辺連携事業の企画及び運営の責任者 ・各業務担当者への業務指示、指揮監督
事業部門	個人利用施設総括責任者 ※受付責任者兼務	構成団体 C	・個人利用施設全体の総括責任者 ・グループ構成団体間の調整業務総括 ・受付での案内業務及び物品の販売等の責任者 ・受付案内業務担当者に対する人材育成及び業務指示、指揮監督 ・券売機・レジ等入退館システムの管理業務総括 ・代表団体 A との連絡・相談窓口
	プール監視責任者		・プールの日常運営と、水質管理等の責任者 ・プール運営業務担当者への業務指示等 ・プール運営業務担当者に対する人材育成
	プール・トレーニングルーム指導総括責任者		・プール・トレーニングルーム・スタジオ等でのスクールや教室などの業務総括責任者 ・個人情報管理責任者（情報管理の実務運用責任者）
	プール指導責任者		・主としてプールでのスクール・教室の実施についての責任者 ・プール・トレーニングルーム等指導業務副統括責任者
	トレーニングルーム指導責任者		・主としてトレーニングルーム・スタジオでのスクール・教室の実施についての責任者 ・プール・トレーニングルーム等指導業務副統括責任者
維持管理部門	維持管理業務総括責任者	構成団体 B	・維持管理業務全般の責任者 ・各種点検作業等の日程調整 ・各業務の履行状況確認 ・大規模大会等における仮設席・音響（用具）担当者との連絡調整 ・グループ構成団体間の調整業務 ・代表団体 A との連絡・相談窓口
	設備運転管理等業務責任者		・設備担当者への業務指示等 ・定期（法令・自主）点検の日程調整等 ・小破修繕の実施 ・省エネルギーの推進等
	清掃業務責任者		・清掃担当者への指導・監督業務 ・夜間清掃員の出勤者数の調整 ・重点清掃箇所等の確認 ・定期作業の日程調整 ・清掃作業時の立会い及び履行確認
	警備保安業務責任者		・警備担当者への業務指示 ・構成団体 B 本社警備保安部との報告・相談窓口 ・教育訓練の日程調整
	利用案内業務責任者		・利用案内業務担当者への業務指示 ・サービス業務責任者及び個人利用施設総括責任者との連絡調整

表-各業務の責任者と主な業務内容

事業者名・団体名	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ
----------	-----------------------------

### 適切な勤務体制・人員配置による業務品質の確保

- 関係法令を遵守し、無理のない適切な勤務ローテーションを組むことで業務品質を確保します。
- 国際公認のプールを管理運営してきたノウハウを生かした人員配置により、質の高いサービスを担保します。
- ライフ・ワーク・バランスを踏まえた働きやすい労働環境を整備し、効果的・効率的な業務を遂行します。

#### 1 適切な勤務体制と人員配置の最適化

##### ■ 適切な勤務体制と柔軟な人員配置による業務品質の確保

- ・勤務シフト間で**引継事項を共有**し、質の高いサービスを提供します。
- ・大規模イベント開催時等には、ノウハウを生かした規模・観客数の予測に基づき、必要に応じて当グループを挙げての応援スタッフ投入により人員を確保します。

##### ■ ライフ・ワーク・バランスの取れた働きやすい労働環境

- ・関係法令等を遵守し、適正な労働時間、有給休暇の付与、福利厚生等の実施と、産業医による健康相談、健康診断結果を踏まえた指導などを実施します。
- ・育児や介護に係る休暇制度など、男女ともに**働きやすい職場環境を整備**します。
- ・新卒・既卒学生就職サイトを活用した職場情報提供を行い、若者雇用を促進します。

##### ■ 大規模大会開催日、中規模大会開催日、通常営業時の勤務体制

目標管理制度の導入によりモチベーションの高いスタッフを育成します

- 目標管理制度を導入してモチベーションと業務品質の向上を図ります。
- 東京 2020 大会と大会後を見据え、英会話や障害者対応等に係る研修を導入し、外国人や障害者等対応への取組みと、ダイバーシティへの意識向上を図ります。
- 公共施設管理運営に必要な研修を計画的に実施するとともに、資格取得研修推奨等によって、スタッフの資質・能力の向上を図ります。

1 東京 2020 大会と大会後のレガシーを見据えた人材育成

■ 目標管理制度の導入

- ・スタッフ全員に目標管理制度を導入します。
- ・責任者との個別面談を実施し、自己の目標設定と業務の質の向上をリンクさせ、スタッフのモチベーションアップと技術・能力の向上を図ります。

■ 計画的な研修の実施

- ・年間を通じて計画的な研修を行い、スタッフの資質・能力の向上を図り、効率的な業務運営を行います。

区分	研修名	研修内容	回数	専門研修 (担当業務名)
全体研修	新任研修	・本施設のスタッフとしての基礎	1回/年	—
	接遇研修	・接遇教育、苦情・要望対応 ・クレーム対応の心構え・注意点	1回/年	—
	救命講習	・応急措置法、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)技能取得	2回/年	—
	個人情報保護研修	・個人情報保護体制 ・Pマーク制度	2回/年	—
	ダイバーシティ・障害者対応研修	・障害者等対応、人権、多様性の理解等	1回/年	—
	コンプライアンス(法令遵守)	・法令及び規則等の確認 ・コンプライアンス教育の徹底	2回/年	—
	英会話研修	・外国人対応の基礎	随時	—
	危機管理対応研修(避難誘導訓練)	・緊急時対応(防災・防犯)	2回/年	—
業務別研修	顧客満足度(GS)	・マニュアルによる接遇研修 ・GS向上に向けての取組み ・苦情処理方法の確認	2回/年	—
	マネジメント研修	・シフト編成、管理方法 ・採用、研修方法	随時	各業務責任者
	オペレーションスキル研修	・各種受付方法 ・館内利用説明方法	随時	管理・事業担当スタッフ
	体育施設管理資格研修	・体育施設管理に関する専門員養成	随時	管理・事業担当スタッフ
	専門知識研修(プールプログラムスキル等)	・プールプログラムの基礎	随時	事業担当スタッフ
	専門知識研修(トレーニングプログラムスキル等)	・トレーニングの基礎	随時	事業担当スタッフ
	指定管理者講習	・指定管理者としての心構え ・施設の設置目的達成のための検討	2回/年	管理・事業担当スタッフ
その他	環境への配慮	・省エネルギーの徹底 ・ISOについて	2回/年	維持管理担当スタッフ
	外部研修への派遣	・資格取得または上級資格取得のための講座・研修への参加	適時	研修内容による

表-当グループの教育・研修計画

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

1 施設、附属設備及び物品の維持管理

(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

類似施設における経験とノウハウを生かし、安全・安心・快適な環境を提供

- ハザードマップの作成・運用や警備・清掃スタッフの巡回等を通じて施設内外の安全管理を徹底します。
- 医療施設における維持管理業務実績を生かし、清掃業務における感染症予防策を展開します。
- 6つの視点に立った性能チェックに加え、定期的な棚卸を行い適切に備品を管理します。
- モニタリングを通じた再委託業務の管理と計画的な維持管理業務により、快適な施設を提供します。

1 施設・設備の維持管理業務

■ 安全で安心できる警備業務の展開

(1) 事故・混乱などの危険を未然に防ぐ取組

- ・ 構成団体 B の警備業務は、施設警備にとどまらず、国民体育大会水泳会場（辰巳）における警備業務統括や行幸啓など、幅広いセキュリティレベルに対応しています。
- ・ 必要な資格や経験・スキルなど有する人員を配置して巡回警備を行うとともに、本社や近隣施設からのバックアップ体制を整え、緊急時には迅速な対応と被害の拡大防止を図ります。
- ・ 定位置警備、定時・臨時的巡回警備などを組み合わせ合わせた警備体制を計画するとともに、巡回時には声かけによる確認を徹底します。
- ・ マニュアル等の整備や緊急時に備えた訓練を行い、施設運営に支障をきたさないよう、最大限協力できる体制とします。



図-おもてなしの心で業務を遂行  
(東京辰巳国際水泳場 臨時警備)

(2) ハザードマップの作成・運用

- ・ 施設内・敷地周辺において危険を伴う場所、発生要因等を記載したハザードマップを作成し、維持管理スタッフに対して危険箇所への注意喚起を行います。

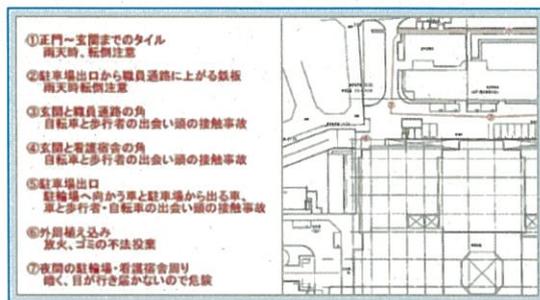


図-ハザードマップの実例(都立病院)

(3) 夜間における確認の徹底

- ・ 警備及び設備スタッフが下表の確認を通じてトラブルの発生を警戒・防止するとともに、業務を通じて蓄積した情報をハザードマップに追記し、安全強化に結び付けます。

区分	確認時の主な注意点
巡回業務全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絶えず問題意識を持ち、微細な行動も見逃さないよう注意する</li> <li>・ 不審な事象を感知した際は、速やかに警備室に連絡し、複数の従事者で対処する</li> </ul>
盗難予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 窓や出入口の施錠</li> <li>・ トイレや階段下等への潜伏者の有無</li> <li>・ 無人の部屋での不審者の有無</li> <li>・ 備品等の留置状況</li> </ul>
火災予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喫煙の有無</li> <li>・ 燃焼物の有無</li> <li>・ 機器の異音や異臭の有無</li> </ul>
施設の保守・保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 扉の把手や鍵の不具合</li> <li>・ 壁、床、階段等の破損や汚損</li> <li>・ 水漏れの有無</li> <li>・ 不要照明の消灯</li> <li>・ エレベーターの運行状況</li> </ul>

表-夜間における確認事項

(4) 利用者の移動支援

- ・ 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、警備スタッフにサービス介助基礎検定受講を奨励し、サポートに役立てます。

サービス介助基礎検定受講のねらい

- ・ 高齢者への理解（認知症の方も含む）と対応
- ・ 聴覚障害者への理解と対応
- ・ 車いす使用者への理解と対応
- ・ 視覚障害者への理解と対応

■ 清掃を通じた感染予防対策の展開

(1) 殺菌清掃の実施

- ・ ノロウイルスやインフルエンザの流行期には、ドアノブやテーブル等の多くの利用者が触れる部分（コンタクトポイント）を、殺菌効果のある薬剤を使って清掃します。
- ・ 薬剤は施設に常備し、すぐに対応できるようにします。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

1 施設、附属設備及び物品の維持管理

(2) ゴミ回収

- ・ゴミ回収に際しては、「①ゴミを押し込めない ②ゴミ袋はゴミ箱の中で縛る ③身体から離して移送する」を徹底し、感染症拡散の一因となる汚染物の飛散防止に努めます。

(3) 嘔吐物の対応

- ・ノロウイルスやロタウイルス等による感染性胃腸炎の感染拡大防止を目的に、「嘔吐物処理手順書」を運用し、嘔吐物を速やかに回収・消毒します。



図-嘔吐物処理研修の様子

■ 施設の最適化を目指した設備管理業務

(1) 関係法令・業務仕様書を遵守した業務

- ・各設備・機器の機能を十分に発揮させ、良好な状態を保持します。
- ・業務マニュアル、業務計画書（日常、月間、年間）、保全計画、体制表を作成し、日常点検・定期点検を実施します。
- ・仕様書に求められた点検のほか、休館日や予約の入っていない空き時間帯を利用した**設備・機器の自主点検**を実施します。



図-機器の自主点検の様子  
(辰巳)

(2) 保守・点検データベースの運用による設備管理

- ・保守点検記録（日報・月報・機器運転データ・修繕・更新の実績等）、LCC 情報（光熱水費・修繕履歴）、建物図面等を**データベースで一元管理**し、迅速かつ適切に、業務に反映させます。
- ・建築物・設備機器等の修繕履歴を活用・分析し、計画的に建物設備の点検や部品交換などを実施することで機能及び性能を維持し、利用者に対する**安全衛生管理を徹底**します。

2 備品の管理

■ 点検・記録による管理

- ・東京都が調達した備品は、定期的に品名、規格、数量、金額、購入年月日、使用場所、使用状況等を確認します。
- ・定期的な棚卸と 6 つの視点に立った**日常的な性能確認**を行い、東京都が調達した備品の破損や不具合、また移動や変更等が生じた際は速やかに**東京都に報告**します。
- ・当グループが設置する備品は、**台帳を整備してデータベース化**するとともに、定期的に状態を確認し、修理や処分の計画立案を行います。また、**シールの貼付**等により、備品を区別して管理します。



図-備品性能確認の 6 つの視点

3 業務の再委託

■ 再委託業務のマネジメント

- ・高度な技術が必要とされる維持管理業務は、**専門事業者の協力**を得て対応し、**厳格な管理指示のもと高い品質を確保**することにより、**安全・安心な施設環境の提供**に努めます。
- ・業務にあたっては、**事前に作業計画書の提出**を求めて業務内容を把握するとともに、**打ち合わせ**を通じ、**サービス品質や安全性、公共性を確保**します。
- ・作業終了後は、**作業現場のチェック**を実施し、問題が無い場合は**作業完了届**及び**作業・点検報告書の提出**を求めます。
- ・作業報告書には必要に応じて**作業前・作業中・作業後の写真**を添付します。

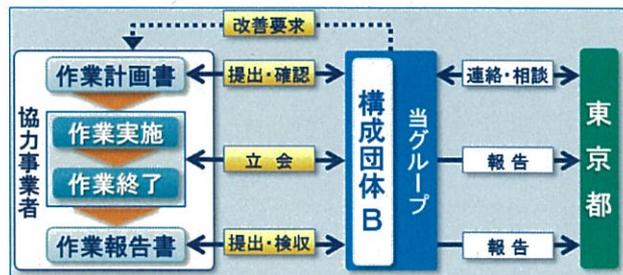


図-再委託業務のマネジメントフロー

【 再委託業務予定 】

- ・再委託業務の一覧及び金額等につきましては、提案課題 6 別紙 2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳をご参照ください。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 5 【施設の維持管理その他管理運営に関する業務】

1 施設、附属設備及び物品の維持管理

(2) 施設の修繕

効率的な維持管理を通じて、都民が誇りを持てる施設づくりを展開します

- 保守・点検データの一元管理にITを活用して常駐設備員と構成団体B本社スタッフで共有・確認しながら予防保全を展開し、施設の安定稼働を担保します。
- 竣工時の適切なメンテナンスなど、中長期視点に立った取組により、本施設のライフサイクルコストを縮減します。

1 「事後保全（対症療法的メンテナンス）」からの脱却

■ 修繕業務

(1) 業務の方針

- ・緊急度・重要度に応じた**判断基準**を定め、利用者からの要望事項・都との協議も踏まえながら**柔軟に対応**します。
- ・施設・設備の修繕は、緊急時を除き、休館日や予約の入っていない**空き時間帯**を利用します。作業に起因する**音や振動等**にも**配慮**して日程調整を行い、快適な利用環境を確保します。

(2) きめ細かな作業の実施

① 作業日程の設定

- ・点検や修繕作業等の日程は、**事前にグループ内及び都と調整**します。特に、停電を伴う点検・作業は、業務に影響が出ないよう、**事前周知の期間を十分に設定**します。

② 迅速な営繕作業

- ・設備保守業務は「**予防保全**」を前提に展開しますが、トイレやシンクからの漏水復旧や電球交換等の作業は迅速に対応します。特殊な交換部品等が必要となる場合には、進行状況を掲示するなど、**説明責任**を果たします。

③ 安全パトロール・設備点検の実施

- ・「安全チェックシート」を用いた**設備員による安全パトロール**を実施し、不具合箇所の把握・応急措置を行うとともに、設備員の視点による危険箇所について、**ハザードマップに記載し全スタッフで共有**します。
- ・施設・設備の点検を実施し、**手直し工事の必要性の有無を調査**します。



図-修繕の判断基準

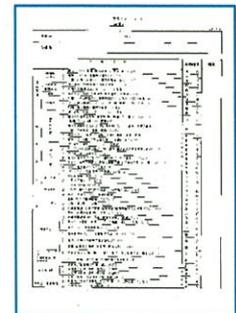


図-安全チェックシート (構成団体B様式)

■ 予防保全の展開

(1) 大規模修繕を抑制する仕組み

- ・修繕期間の長期化や代替機能確保のための高額の費用、一時的な施設使用制限などの影響を生じさせないため、当グループでは、施設・設備の異常を早期発見して、突発的な不具合などの発生を未然に防止する「**予防保全**」を展開し、**大規模修繕の抑制と施設機能の保持**を図ります。

(2) 修繕計画の立案方法

- ・日常点検や定期点検の記録、各種警報・故障・不具合の記録を残し、有効なデータとします。
- ・収集したデータの解析を通じて**対象設備の機能・性能及び劣化状況等の詳細を把握**し、必要な修繕及び部品交換等の時期を整理して**日常の保全に立脚した修繕計画**を立案します。さらに使用状況、自然環境により加わった劣化状況とその原因を把握して、**故障出現の頻度予想として活用**します。

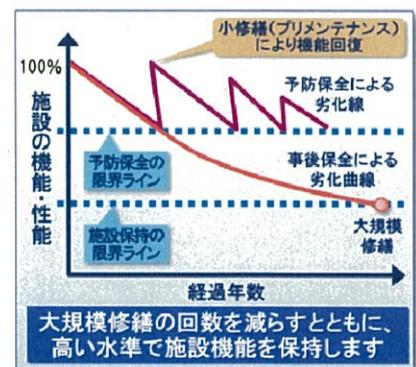


図-予防保全による施設機能維持

■ 保守・点検データの一元管理

- ・保守点検記録（日報・月報・機器運転データ・修繕・更新の実績等）、LCC 情報（光熱水費・修繕履歴）、建物図面等を**一元管理**し、迅速かつ適切に、業務に反映させます。
- ・建築物・設備機器等の修繕履歴を活用・分析し、計画的に建物設備の点検や部品交換などを実施することで機能及び性能を維持し、利用者に対する**安全衛生管理を徹底**します。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

1 施設、附属設備及び物品の維持管理

2 メンテナンス情報の共有・活用

■ クラウドアプリケーションの導入による IT 化の推進

- ・ 予防保全やデータの一元管理を有効に展開するために、PC・タブレット端末に対応したアプリケーションを導入します。
- ・ 本施設の設備・機器情報及び年間業務計画を予め入力するほか、作業報告やトラブルの現状などを常駐設備員と構成団体 B 本社技術部スタッフで共有・確認していきます。
- ・ クラウド型のシステムを採用することで、安価で迅速に導入できるほか、業務の進捗に応じてカスタマイズすることも可能です。

■ メンテナンス記録を情報資産として活用

- ・ アプリケーションを活用して点検記録やトラブル対応等のメンテナンス情報を紐付けし、修繕の傾向分析を根拠とした予防保全の展開や中長期修繕計画の提案など、より一層のライフサイクルコスト削減に貢献していきます。
- ・ 利用者や都からの意見・要望についても入力することで、経過を関係者で共有し、迅速に対応します。

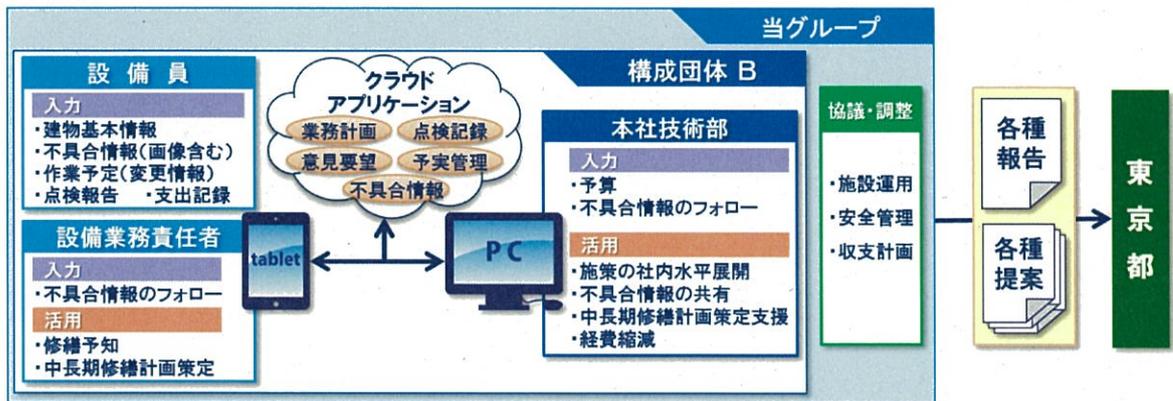


図-クラウドアプリケーションの運用

3 ライフサイクルコスト削減の取組み

■ 2084年（65年後）を見据えた取組

- ・ 当グループでは、経年劣化進行防止と光熱水費の削減、省エネルギーに取り組み、一般的に寿命 60～65 年と言われる建築物の寿命を見据えたサービスの提供に努めます。

■ 日常業務に立脚した効率的な保守業務の展開

- ・ 3 つの視点に立った設備員の確実な作業・点検を通じ、施設・設備のライフサイクルコスト (LCC) 削減を図ります。
- ・ 建物・設備の不具合箇所や状況はクラウドアプリケーションにて、作業の優先順位と概算費用を算定して記録します。
- ・ 不具合箇所を施設平面図に状況写真とともに表示し、施設現況を見える化 (可視化) させることで設備員全員の状況認識を徹底します。



図-LCC 削減における 3 つの視点

■ 中長期修繕計画の策定・提案

- ・ 施設的美観及び機能性能の維持のため、点検・修繕データ及び施設・設備の実態調査を踏まえた中長期修繕計画を提案し、建物の長寿命化と大規模修繕費の抑制に貢献します。



図-中長期修繕計画策定のフロー

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

2 その他管理運営に関する事項

(1) 危機管理及び災害対応

あらゆるリスクを想定し、迅速かつ適切に対応できる体制を整備します

- ❑ 業務における潜在リスクの抽出・分析・評価を行い、緊急事態に備えた危機管理体制を整備します。
- ❑ 東日本大震災の経験や東京都地域防災計画を踏まえ、辰巳地域における防災活動に取り組みます。
- ❑ 保険への加入や防犯カメラの増設など、運営上のリスクを軽減または未然に防ぐ取組を展開します。
- ❑ 全スタッフが救命活動を行えるよう、普通救命講習の受講を義務付けるほか、定期的な研修を行います。

1 緊急事態に備えた危機管理体制の整備

■ リスクマネジメントの徹底

- ・館長を「リスク管理責任者」として選任し、「実務担当者会議」など定期的な打合せを通じて、業務における**潜在リスクの抽出と、分析・評価**を行います。
- ・「リスクを最もよく管理できる者が、当該リスクを負担する」ことを原則に、グループ各社で**リスク分担を明確**にし、迅速・適切に対応します。
- ・「東京都地域防災計画」に基づき、施設の特性に応じた「緊急時対応マニュアル」を作成し、非常連絡網の作成、避難通路の確保・表示、避難誘導・情報連絡方法などを明確化します。
- ・本施設が東京 2020 大会の競技会場となることから、当グループが他に管理運営している競技会場施設と合わせて、サイバー攻撃に対して万全の対策を実施します。



図-リスクマネジメントの概念

2 防災活動への積極的な取組

■ 東京都地域防災計画に基づく対応

- ・本施設が災害発生時における現地対策本部、物資の備蓄機能、医療救護スペース等の役割を担う可能性があることを十分認識し、業務に当たります。
- ・東日本大震災の際に、当グループの施設が避難所となった経験を踏まえ、施設管理者として**避難所運営に全面的に協力**します。
- ・本施設が「東京都帰宅困難者対策条例」及び「東京都地域防災計画」に基づく「一時滞在施設」として指定される予定であることから、「都立施設を活用した一時滞在施設の運営マニュアル(東京都総務局総合防災部)」に基づき、適切に運用します。
- ・災害発生後、直ちに建物被害状況を把握し、施設内の危険区域の設定を行うことで、**二次災害を未然に防ぐ**とともに、現地対策本部や一時滞在施設としての**機能確保**に努めます。

■ 自衛消防隊の編成と防災センターの活用

- ・関係法令に基づき、「東京アクアティクスセンター消防計画」を策定します。
- ・**自衛消防技術認定資格を有する常勤スタッフ**を組み込んだ自衛消防隊を組織するとともに、深川消防署の指導のもと、**定期的に全スタッフが参加する防災訓練を実施**します。
- ・**消防活動の拠点として防災センターを活用**するため、防災センター要員、自衛消防業務講習の修了者を法定数以上配置します。



図-自衛消防隊の組織

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 5 【施設の維持管理その他管理運営に関する業務】

2 その他管理運営に関する事項

■ 発災時の対応

- ・災害発生及び事故・急病等の発生等の緊急時には、代表団体 A が既に策定している「災害対策要綱」及び「事故発生時報告等事務処理要綱」に基づき、館長に情報を集約し、東京都をはじめ関係機関への連絡・通報など、迅速な対応を行います。
- ・必要に応じて応援スタッフを派遣するなど、施設運営に支障のない範囲で、同じグループで運営する東京辰巳国際水泳場との連携を図ります。

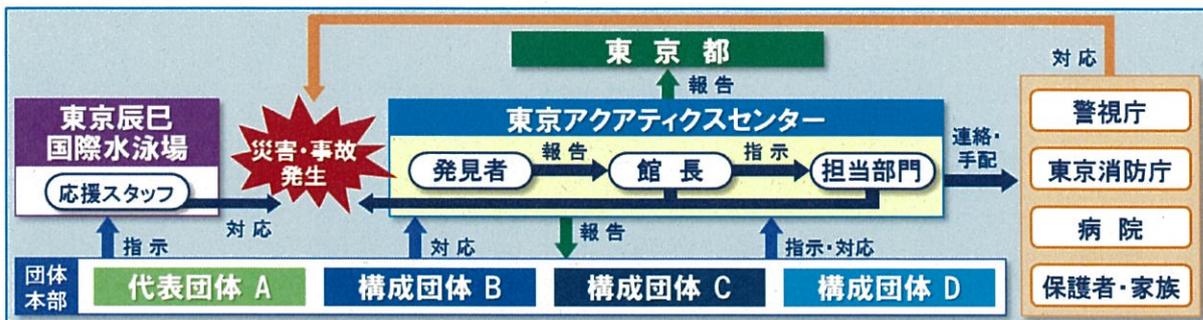


図-緊急時の対応体制

3 リスクを軽減または未然に防ぐための取組

■ 事故・急病等に備えた保険の加入

- ・「施設賠償責任保険」（対人：1名3億円、1事故5億円、対物：1事故2億円）に加入し、万が一の事故等により、施設の利用者等に損害を与えた場合に備えます。
- ・施設以外で事業等を実施する場合にも、個別にイベント保険等に加入し、不測の損害賠償請求に備えます。

■ 防犯カメラの設置による防犯対策

- ・東京都が本施設内に設置した防犯カメラについては、「東京都が設置する防犯カメラの運用に関する要綱」を遵守し、適正に運用するとともに、必要に応じて当グループが独自にカメラを増設し、事故防止に向けた監視体制を強化します。



図-カメラ増設による監視強化

4 研修等によるスタッフへの周知徹底等

■ AED を始めとした医療機器と薬品等の常備

- ・本施設に必要な数の AED を設置し、定期的にバッテリー等の状態を確認するなど、適正な維持管理により、常に使用できる状態を保ちます。
- ・プールについては、AED の他、各種救命機器を常備することで、応急救護機能を強化します。

■ AED 講習会の受講と定期的な救命訓練の実施

- ・全スタッフを対象に、深川消防署などの協力を得て、(公財) 東京防災救急協会が実施する「普通救命講習」を受講させ、AED の使用方法を習得させる他、定期的に救命研修・訓練を実施します。
- ・個人利用施設各運営担当者には、救急救命講習の受講と CPR (心肺蘇生法) のトレーニング実施を義務付けます。



図-普通救命講習 (当グループ 実績)

■ 全スタッフが「救急・事故対応 携帯カード」を携行

- ・緊急時に適切な対応が取れるよう、緊急連絡先、状況把握の方法から救急車の手配・誘導までを簡潔にまとめた「携帯カード」を作成し、全スタッフに常時携行させます。



図-救急・事故対応携帯カード (代表団体 A 実例)

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

2 その他管理運営に関する事項

(2) 地球環境への配慮

開業時の適切な運用を通じ、東京 2020 大会のレガシーを次世代に引き継ぎます

- 高効率機器が配置された本施設において、省エネルギー・緑化推進などの各種施策展開や環境に配慮した維持管理業務を通じ、環境負荷低減をハード・ソフトの両面から推進します。
- 公共施設として率先したエネルギー管理を展開すべく、本施設での ISO 50001 認証取得をめざします。

1 中長期的視点に立った環境配慮の取組

■ 東京 2020 大会後を見据えた環境レガシーの形成

- ・東京 2020 大会では最大限の環境配慮が求められており、大会の成功に向けて積極的に環境施策を展開します。
- ・ハード面で高効率化が徹底された施設であることから、運用（ソフト）面での改善を図り、大会後においても成果が継続・発展するよう、中長期的視点に立って取り組みます。

2 環境配慮への具体的な取組

■ 積極的な施策の展開

- ・都立スポーツ施設の指定管理者として、下表の対策に取り組みます。

区分	施策	実施内容
省エネ	エネルギー マネジメント	・集中監視システムで各種エネルギーデータを系統別に時間単位で記録 ・データを解析しエネルギー消費動向を把握
	熱管理	・負荷の平準化（温度時間の効率）、ヒートパターンの改善 ・温度設定の見直し
	省電力	・電力契約の見直し、使用電力量の管理と適正化
	節水	・節水型シャワーヘッドの導入
	省資源	・コピー用紙使用量の低減（裏紙の積極的な利用）
	キャンペーン	・定期的に省エネキャンペーンを展開し、目標数値を設定
	無駄の排除	・施設使用状況に応じた照明・空調の停止
廃棄物	排出量削減、 リサイクル	・館内で回収したごみは集積所で再分別し、リサイクル率を向上 ・利用者に対し、館内掲示により分別への理解を促進
	有害物質の管理	・冷蔵・空調設備等機器廃棄時における有害物質の適切な管理・回収
	薬剤	・清掃に用いる洗剤・薬剤は低環境負荷のものを使用 ・ワックス類は「製品安全データシート（MSDS）」の基準に即して選定・使用 ・除草剤や樹木の消毒液等は、環境に配慮した製品を使用
調達	グリーン調達	・グリーン購入法に基づく商品や同法に沿って環境配慮がされている適合商品の購入を推進
植栽 緑化	緑化推進	・敷地内の緑化を推進

表-環境負荷低減の取組

3 公共施設として率先した省エネルギーの推進

■ ISO 50001 認証取得をめざした取組

- ・効率的なエネルギー管理を実現していくためには、エネルギーマネジメントシステム（EnMS）の構築が必要です。
- ・構成団体 B は平成 24 年 4 月に ISO 50001 認証を公立阿伎留医療センター及び公立福生病院にて取得しました。それぞれの医療施設では、過去のエネルギーの使用量と気象条件、人的条件等の関連変数を分析し、エネルギーベースライン又はエネルギーパフォーマンスに反映する方針で EnMS を展開しています。
- ・本施設においても、ISO 50001 認証取得をめざすことで、より効果的なエネルギーマネジメントを展開します。



図-構成団体 B 取得の ISO 50001

■ 認証取得までのプロセス

- ・EnMS の基礎として、開業後 1 年間のエネルギー使用状況及び使用量データを蓄積します。
- ・構成団体 B が取得施設において策定・運用している「EnMS マニュアル」及び運用規定を踏まえ、設置機器のエネルギー効率を見極めた、きめ細かなエネルギー使用に努めながら認証取得のスケジュールを立案し、審査機関への登録を行います。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

2 その他管理運営に関する事項

(3) 個人情報の保護

厳格な個人情報保護マネジメント体制を整備・運用します

- プライバシーマークを取得している代表団体 A のマネジメントのもと、厳格に情報を管理します。
- 採用時及び採用後の研修をはじめ、内部監査により管理体制の維持向上を図ります。
- 情報漏えい発生時には、代表団体 A を中心に迅速に対応し、二次被害を防止します。
- 個人情報に配慮しながら、施設の管理運営に関する情報を適切に公開します。

1 個人情報保護のマネジメント体制の確立

■ 個人情報保護マネジメント体制の整備と守秘義務の徹底

- ・本施設では、利用者の氏名、生年月日、年齢、性別、住所、電話番号等の個人情報を取り扱います。
- ・収集した個人情報は、代表団体 A が「個人情報保護方針」、「個人情報保護規程」及び「個人情報保護要綱」を制定し、**個人情報の保護を徹底**します。また、「就業規則」により、退職後も含めた、**職員の秘密保持義務を規定**します。
- ・個人情報保護マネジメントシステム確立後も、各業務責任者が日常的に検証を重ねるとともに、法律・条例、規格等の改正に適切に対応するなど、**継続的な改善と適正な運用**を図ります。



■ グループ各団体の取組状況

(1) 代表団体 A 及び構成団体 B

- ・両団体とも、(一財)日本情報経済社会推進協会から**プライバシーマークの付与認定**を受けており、厳格な個人情報保護マネジメントシステムを運用しています。



図-グループで取得しているプライバシーマーク

(2) 構成団体 C

- ・全国 216 店舗（直営 155 店舗、受託 61 店舗：2018 年 4 月末現在）での管理運営経験から、ISO 9001 の手順に従って個人情報保護規定や個人情報保護マニュアルを作成し、独自の個人情報保護体系を構築しています。

(3) 構成団体 D

- ・「個人情報保護規程」を定め、保有する個人情報の適切な保護を行っています。

2 個人情報保護及び守秘義務を徹底するための取組内容

■ スタッフの教育研修とセルフモニタリング

- ・個人情報の取扱いについて、**採用時に研修を実施**する他、代表団体 A の規程に基づき、個人情報保護に関する教育計画書、監査計画書を作成し、**定期的**に**研修及び内部監査を実施**します。
- ・窓口受付業務、事業参加受付業務等のマニュアルに、個人情報保護の項目を設け、全スタッフに**周知徹底**を図ります。

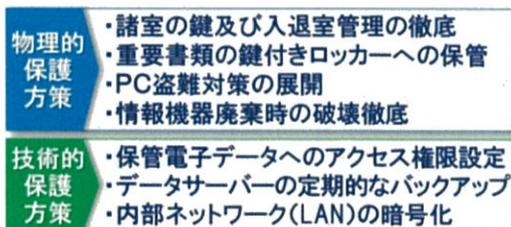


図-個人情報保護の具体的取組

■ 個人情報漏えい時の処置

- ・代表団体 A が定める「個人情報保護管理規程」に従い、適切かつ迅速に対応します。
- ・個人情報の漏えい、滅失またはき損が発生した場合は、本人に速やかに通知します。
- ・二次被害の防止のため、事実関係、発生原因及び対応策を、遅滞なく公表するとともに、都及び関係機関に報告します。

3 情報公開について

- ・「情報公開条例」及び代表団体 A が定める「情報公開要綱」に基づき、適切かつ積極的な情報公開に努めます。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

## 提案課題 6 [収支計画]

### ● 収支計画の考え方

大会の積極的な誘致や東京 2020 大会のレガシーを生かし、収益を確保します

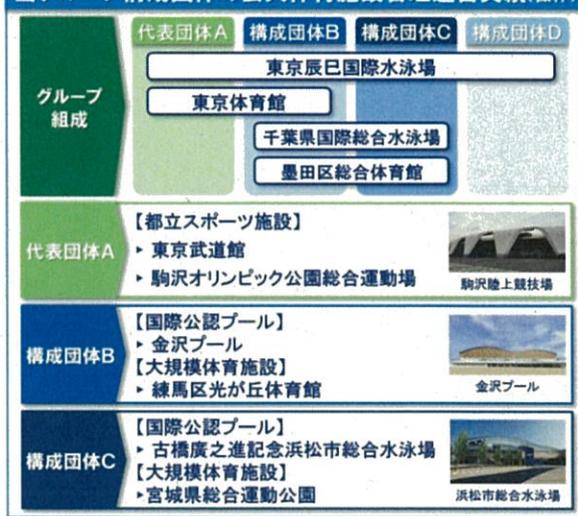
- 豊富な経験とノウハウを生かした収支計画を作成し、参考価格を下回る指定管理料を提案します。
- 辰巳等で培った実績や前例にとらわれない新たな視点をもとに収支改善を図ります。
- 収支赤字が発生した場合には、グループ全体で補填し、責任を持って管理運営に当たります。

### 1 当グループが提案する指定管理料

#### ■ 設置目的等の実現に向けた収支計画

- ・当グループでは、各構成団体それぞれの経験とノウハウを結集させ、本施設の設置目的や基本方針を具現化する事業計画を検討し、それをもとに収支計画を算出しました。
- ・算出に当たっては、辰巳をはじめとした多くの体育施設の管理を通じて得られた経験を生かし、豊富な実績に基づく詳細な収支分析を行いました。
- ・その結果、概ね「新規恒久施設の施設運営計画」の収支見込で示された収支差額と同程度の金額となりました。
- ・そうして作られた収支計画第一案と東京都から示された参考価格との間に隔離があったこともあり、その後、東京都から示された詳細な図面等から得られた情報も踏まえ、さらなる収支計画の見直しを図りました。
- ・見直しに際しては、当グループの構成団体が、それぞれ専門の見地から所与の条件や情報をもとに、更なる収入確保や支出削減に向けて検討を重ねました。
- ・その結果、最終的に作成した収支計画では、当初算定した指定管理料から約 1 億円圧縮し、参考価格 546,480 千円を下回る 539,796 千円となりました。

当グループ構成団体の公共体育施設管理運営実績(抜粋)



#### ■ 参考価格を重視した指定管理料

- ・指定管理者制度においては、入札制度のような金額による絶対評価ではなく、提案内容と提案金額をあわせた相対評価により受託者が選定されるものと考えます。
- ・指定管理料の圧縮にのみ固執することは、質の低下や事業規模の縮小、いたずらな利益追求などを招きかねず、指定管理者制度の趣旨に反することにもなりかねないため、当グループでは提示された参考価格を重視しながら、最大のパフォーマンスを発揮するための検討を重ねました。
- ・各支出項目を徹底的に見直すとともに、あらゆる角度から収入確保に向けた方策を検討することにより、最適な収支計画を策定いたしました。



図-平成 33 年度収支計画(単位:千円)

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

## 2 収支計画作成に当たっての視点

### ■ 公益性と低コストで良質なサービスの追求

- ・当グループは、東京都の監理団体である代表団体 A、競技団体である構成団体 D、民間企業である構成団体 B 及び C の 4 者で構成されています。
- ・代表団体 A と構成団体 D はともに公益財団法人として、都民サービスと競技力向上といういずれも**公益性の高い行政目的を達成**するため、限りある資源を最適配分しながら、これまで培った経験とノウハウをもとに、共同して施設の運営に当たります。
- ・一方、構成団体 B 及び C は、スポーツクラブの運営、設備の維持管理、建物の警備・清掃等の各分野で**高度な専門性と豊富な実績**を有しており、都民や利用者に対し、**低コストで良質なサービスを提供**することができます。

### ■ 辰巳等の実績をもとに作成

- ・当グループは近接する辰巳の管理運営、さらに、構成団体 B 及び C は**国際公認プール**である千葉県国際総合水泳場の管理運営を行っています。
- ・実際にこうしたプール専用施設を運営するに当たり、どのような課題があり、どのような費用が発生するのか、収入を確保するためにはどのようにすればよいかなど、数多くの経験をもとに工夫を重ね、収支計画を作成しています。
- ・当グループが作成する収支計画は、実際に**大規模プール施設の管理運営実績や経験をもとに作成**したため、実現性の高い計画であると考えます。



図-千葉県国際総合水泳場

### ■ 強固な信頼関係に基づく収支の改善

- ・当グループの構成団体は、辰巳の管理運営を通じて、**利用者満足を最大化**するという同じベクトルのもと、**様々な課題に直面し、解決**する中で、信頼関係や連帯感という**無形の財産**を築いてきました。
- ・各構成団体は、本施設を管理運営することの社会的価値を深く認識しており、グループ一丸となって、都民・利用者目線に立ったうえで収支の改善に取り組みました。

### ■ 前例にとらわれない新たな視点

- ・上述のとおり、豊富な経験や強固な信頼関係といった当グループの強みを生かしながら、安易な前例踏襲とならないよう最大限留意し、収支計画を作成しました。
- ・当グループはこれまでも、様々な課題を解決し、不断の見直しにより改善を行うなど、より良い施設運営に取り組んだ結果、平成 28 年度の**指定管理者管理運営状況評価は「A+」**をいただいております。
- ・また、昨今、東京都が進める「施設サービス魅力向上プロジェクト」や「仕組み改革」、「見える化改革」などを踏まえ、代表団体 A が中心となり、更なる見直しを行っています。
- ・今回の公募では、新たな視点による運営が求められていることに加え、既存の枠組みや発想を見直し、**これまでにない切り口での検討**が必要になると考えます。
- ・そのため、これまでの辰巳での実績等を参考に、従来の運用方法を再点検するとともに、施設運営計画での収支差額から参考価格が大幅に見直しされていることから、支出削減策や新たな収入確保策について検討を重ねました。

## 3 支出計画・収入計画作成の流れ

### ■ 豊富な経験や創意工夫に基づく効率的な支出計画

- ・支出計画の作成に当たっては、先述のとおり、辰巳をはじめとした数多くのスポーツ施設の**管理運営実績をもとに支出内容を洗い出**しました。
- ・そのうえで、**本施設ならではの規模や条件などを加味**し、支出項目や金額、さらには、工夫可能な方策などを精緻に分析し、費用圧縮に向けて何度も検討を重ねました。

## 提案課題 6 [収支計画]

- ・東京都から図面等や質問回答が公表された後は、効率的な運営に向けた更なる工夫・改善を検討し、**事業効果の最大化と指定管理料の圧縮**を目指しました。
- ・なお、積算にあたっては、経常的に発生する費用については出来る限り縮減するとともに、その**余剰分について投資効果の高い支出に充てる**よう努めました。
- ・今後については、新たな設備や備品の整備など、施設自体の資産価値の向上のみならず、魅力的な各種事業の展開や広告宣伝、東京 2020 大会会場施設としてのレガシーの定着促進、施設のブランド価値の向上など、**無形資産の価値向上につながる支出も優先**させていきます。

### ■ 類似施設での実績を踏まえた実現性の高い収入計画

- ・中長期的な視点で本施設の価値を高め、より多くの人が集う魅力あふれる施設へと発展させていくことが、設置目的にかなうだけでなく、収入増にもつながるものと考えます。
- ・東京 2020 大会の競技会場という優位性を最大限活用し、辰巳以上に多くの国際大会等を積極的に誘致することにより、そこで繰り広げられるアスリートたちの数多くのドラマや樹立される記録などが広く浸透し、**日本における「水泳の聖地」としてのプレゼンスを確立**していきます。
- ・収入計画の作成にあたっては、「**来場者目標 100 万人**」「**国際・国内大会誘致目標 100 大会**」を前提に、「提案課題 2」で提示している利用料金をもとに、収入額を算出しました。
- ・利用者に対するサービス提供事業についても、利用者への利便性向上のみならず、収益確保の観点も考慮し、事業内容を工夫しております。
- ・辰巳等の管理実績を踏まえながら具体的な運用方法や実効性を精査することで、**実現可能な収入計画**を積算しています。

## 4 支出削減策及び収入確保策

### ■ 具体的な支出削減策

#### (1) 光熱水費 <削減額： 程度>

- ・太陽光発電設備、地中熱ヒートポンプシステム等の省エネ設備を最大限活用するとともに、東京都から公表された資料を精緻に分析し、設備機器の詳細な設定や運転時間の微調整などを工夫することにより、光熱水費の削減を図ります。
- ・また、自由化された電力やガスについては、辰巳でも既に導入しており、本施設においても積極的に導入を検討していきます。

#### (2) 消耗品費 <削減額： 程度>

- ・消耗品については、辰巳をはじめ、管理している他施設との一括購入や集約化などによるスケールメリットを生かし、**調達単価の低減**を図ります。

#### (3) 人件費 <削減額： 程度>

- ・法令遵守のもと、**シフトや配置の工夫**、ライフ・ワーク・バランスなどの**働き方改革**を進めることにより、費用削減を図ります。

#### (4) 委託費 <削減額： 程度>

- ・委託費についても、隣接する辰巳との一体管理による費用縮減を図ります。また、辰巳での経験を踏まえ、さらに効率的な仕様の見直しによる契約金額の低減を図ります。

### ■ 具体的な収入確保策

#### (1) 施設使用料の増収 <増加額： 程度>

- ・安定的な収入確保のため、団体利用の利用率をできる限り高めます。また、メイン・サブ・ダイビングの各プールについて、動線等の運営方法を工夫することにより、複数大会の同時開催、大会開催時にレーン貸しや個人利用へ出来る限り開放するなど、施設を有効活用し、体育施設利用料の増収を図ります。
- ・優先受付や一般受付後の**空き枠や休館日等を有効活用して興行イベント等を誘致**することにより、施設利用料収入の増収を図っていきます。
- ・都内有数の長水路やダイビングプールを有する本施設の特徴を生かし、テレビ番組の撮影など、**映像制作等の撮影**をできる限り受け入れます。その際は、一般利用に支障のないよう、夜間対応や休館日対応も含めて実施していきます。

事業者名・団体名

事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

(2) 外部資金の導入 <増加額： 程度>

- ・事業の実施等に当たっては、積極的な外部資金の導入を図っていきます。具体的には、管理する他の施設で体育の日記念事業等の事業実施の際に、企業・団体等から資金供与やイベントの運営に必要な物品提供を受けてきた実績があり、このノウハウを生かして、**多様な企業・団体等から協賛**を得られるよう努めていきます。
- ・**施設内広告やウェブ広告**を設け、収入増加を図ります。施設のエントランスやプール壁面等のスペースを活用し、大会開催時のスポンサー対応にも配慮しながら、出来る限り広告効果の高い運営を行っていきます。
- ・この他、事業内容に応じて、東京マラソンチャリティをはじめとする**寄附金やスポーツ振興くじ助成金等の活用**も積極的に検討していきます。

(3) 事業実施を通じた増収 <増加額： 程度>

- ・**利用者に対するサービス提供事業**として、駐車場の運営方法の工夫や独自に荷物預かり用ロッカーを設置するなど、収入増加を図ります。
- ・業界有数の企業である構成団体 C が有するノウハウを最大限活用するとともに、東京 2020 大会のレガシーや“水泳の聖地”としてのブランド力を生かし、多くの受講者が集まる**魅力的な自主事業**を実施します。

(4) サービス充実による増収 <増加額： 程度>

① 手数料収入の増加

- ・本施設で導入する売店・カフェにおけるレセプション利用やカフェのポットサービス、売店の弁当、飲料の注文販売などについて、施設利用者に対して積極的な紹介を行うことで利用を促進し、管理手数料の増収を目指します。

② 遊休スペースを活用した収入源の確保

- ・遊休スペースを有効活用し、更なる増収策を図っていきます。**未利用のスペースを新たな収入源**としてとらえ、有効活用するべく整備していきます。
- ・東京体育館においても、陸上競技場内の中央スペースをフットサルコートとして、外側空地为カフェテラス席としてそれぞれ整備し、また、事務所スペースを集約化することで、個人利用施設として新たな空間を生み出し、増収に大きく貢献しています。
- ・本施設においても、例えば、2階東西の屋外通路において、テーブルや椅子を設置し、飲食が可能な憩いの空間を提供することにより、**売店の売上向上**を図ります。
- ・今後、給排水設備の状況や安全性なども踏まえ、バーベキューなどの飲食提供も検討していきます。



図-遊休スペースの活用事例  
(東京体育館ふれあいパティオ)



図-遊休スペースの活用事例  
(東京体育館多目的コート)

5 収支差額の取扱い

■ 赤字の場合

- ・損失が生じた場合は、**グループ全体で補填**し、責任を持って指定管理期間の管理運営にあたります。

■ 黒字の場合

- ・指定管理料収支で利益が見込まれる場合は、施設・備品の整備、利便性やイメージ向上のための改善措置など、**施設価値の向上につながる投資**を行います。
- ・これまで辰巳では、更衣ロッカーや館内ディスプレイ等の更新、タッチプレートの修繕、冬季イルミネーションの実施などを行ってまいりました。

提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(1) 支出の計画

単位：千円

項目		31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
人件費	正 規 職 員							別紙1積算内訳①
	臨 時 職 員						アルバイト、派遣職員、非常勤職員等	
	人 件 費 計 ( A )							
管理運営費	光 熱 水 費						電気・ガス・水道・燃料	別紙1積算内訳②
	消 耗 品 費 等						消耗品、備品、印刷製本、原材料、建物・設備等修繕費等	別紙1積算内訳③
	役 務 費						電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	委 託 費 ( 維持管理費等 )						設備保守・清掃・警備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内訳
	賃 借 料						リース料等	別紙1積算内訳⑥
	そ の 他						諸謝金・旅費交通費・その他経費	別紙1積算内訳⑦
	小 計							
	間 接 費						管理運営に伴う本社等の経費 (人件費を含む。)	
	合 計							
	消 費 税							
管 理 運 営 費 計 ( B )								
スポーツ振興事業費	事 業 費							事業計画書 3-1-(1) [スポーツ振興事業]
	間 接 費						スポーツ振興事業運営に伴う本社等の経費 (人件費を含む。)	
	合 計							
	消 費 税							
ス ポー ツ 振 興 事 業 費 計 ( C )								
支 出 合 計 ( D = A + B + C )								

提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(2) 収入の計画

単位：千円

項目		31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
管理運営費	体育施設利用料金						専用・個人の施設利用料金、自主事業の施設利用料金	別紙積算内訳⑧
	その他						預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	別紙積算内訳⑨
	管理運営費計(E)							
スポーツ振興事業費	参加料							事業計画書 3-1-(1) [スポーツ振興事業]
	その他						協賛金等	
	スポーツ振興事業費計(F)							
その他(G)							自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(2)(3)(4)
収入合計(H = E + F + G)								

(3) 都からの委託料

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
都からの委託料(D - H)	539,796	539,796	539,796	539,796	2,159,184		

※ (参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者に対するサービス提供事業の収支(積算内訳は事業計画書3-1-(2)(3)(4))

単位：千円

項目	31年度			32年度			33年度			34年度		
	収入	支出	差引									
自主事業												
周辺連携事業												
利用者に対するサービス提供事業												
合計												

## 提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。)

### ① 人件費積算内訳

単位：千円

--	--	--	--	--	--

### ② 光熱水費積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
電気代					
ガス代					
水道代					
合計					

### ③ 消耗品費等積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
消耗品費					
備品費					
印刷製本費					
建物・設備等修繕費					
その他					
合計					

### ④ 役務費積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
電話代					
郵券代					
クリーニング代					
手数料					
データ通信費					
その他					
合計					

### ⑤ 委託費（維持管理費等）積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
内訳は提案課題6 別紙2「⑤委託費（維持管理費等）積算の内訳」のとおり					

### ⑥ 賃借料積算内訳

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
マシンリース料					
システム運営費					
コピー機賃借					
その他					
合計					

**⑦ 管理運営費・その他支出積算内訳**

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
旅費交通費					
租税公課					
広告宣伝費					
その他					
合計					

**⑧ 体育施設利用料金収入積算内訳**

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
競技会利用					
その他利用					
レーン貸等					
部分貸切					
会議室利用等					
自主事業等					
個人利用等					
合計					

**(⑧体育施設利用料金収入の積算補足資料)**

- 体育施設利用料金収入の積算内容を具体的に記述してください。

**⑨ 管理運営費・その他収入積算内訳**

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
利用者サービス					
事業光熱水費					
収入					
広告料収入					
合計					

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考	
1. 電気設備	受電設備法定点検			
	非常用発電機点検			
	発電機負荷試験			
	常用発電機点検			
	直流電源装置			
	照明制御設備			
	放送設備			
	ITV設備			
	防犯・入退室管理設備			
	駐車場管制設備			
	中央監視制御設備			
	競技照明設備			
	大型映像装置			
	競技時計設備			
	テレビ中継設備			
	警察・消防無線設備			
	2. 空調設備	地中熱利用ヒートポンプチラー		
		ガス焚冷温水発生器		
		温水ヒーター		
		冷水2次ポンプ		
温水1次ポンプ				
給湯1次ポンプ				
コージェネレーション排熱循環ポンプ				
太陽熱循環ポンプ				
温水2次ポンプ				
冷温水1次ポンプ（地中熱ヒートポンプ）				
冷温水1次ポンプ（冷温水発生機）				
冷却水ポンプ				
地中熱利用熱源水ポンプ				
太陽熱利用集熱ポンプ				
ドレンポンプ				
熱交換器				
膨張タンク				
空気調和機				
空気調和機フィルター清掃				
外気調和機				
外気調和機フィルター清掃				
ファンコイルユニット				
ファンコイルユニットフィルター清掃				
EHP室内機				
EHP室内機フィルター清掃				
EHP室外機				
全熱交換器				
全熱交換器フィルター清掃				
フィルターユニット				
フロン簡易点検				
フロン定期点検				
3. 給排水設備	受水槽			
	上水加圧給水ポンプユニット			
	雑用水加圧給水ポンプユニット			
	冷却水加圧給水ポンプユニット			
	加湿用加圧給水ポンプユニット			
	排水ポンプ			
	給湯循環ポンプ			
貯湯槽清掃				

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
	貯湯式電気温水器		
	冷水器		
	間接給水槽		
	雑用水槽		
	冷却塔補給水槽		
	プール濾過機点検		
	プール還水槽清掃		
	プール可動床・可動壁点検		
	紫外線処理装置		
4. 消防設備	消防設備点検		
	防火設備点検		
	防災管理点検		
5. 建築設備	特殊建築物定期点検		
	建築設備定期点検		
	電動ロールスクリーン		
	吊りボタン		
	エレベーター		
6. 水質検査	上水水質検査		
	給湯水質検査		
	雑用水水質検査		
	設備用水質検査		
	プール水水質検査		
	レジオネラ属菌検査		
	簡易専用水道検査		
	総トリハロメタン		
7. 空気環境測定	空気環境測定		
	煤煙濃度測定		
	ホルムアルデヒド測定		
8. 害虫駆除	ねずみ・害虫生息検査		
	ねずみ・害虫駆除		
9. 清掃業務	日常清掃		
	定期清掃（床面・ガラス・排煙窓）		
	使用後清掃		
10. 植栽管理業務	植栽管理（施肥・剪定・除草）		
11. プール監視業務	プール監視		
12. 管理運営業務	集金業務及び両替金業務委託		
	入退場システム保守管理		
	防火対象物点検		
	一般健康診断		
	婦人科検診		
	研修費用		
	システム関係費		
	メモリアルギャラリー受付委託		
	メモリアルギャラリー機器保守点検		
	トレーニング室内備品の維持・補修業務		
	プール設備の定期清掃業務		
計			

※1 本計画書の作成に当たっては、収支計画書との整合を図ってください。